

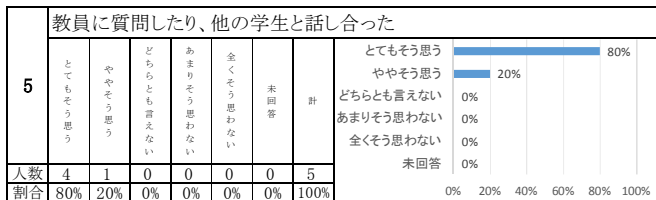
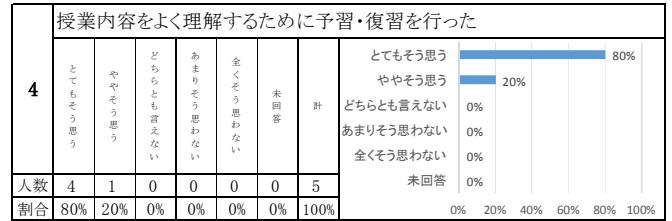
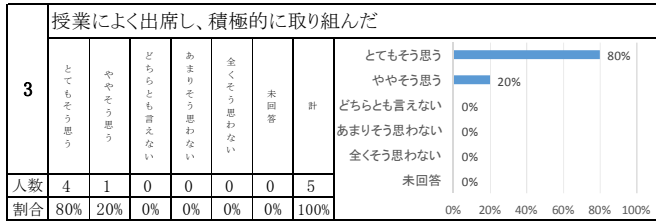
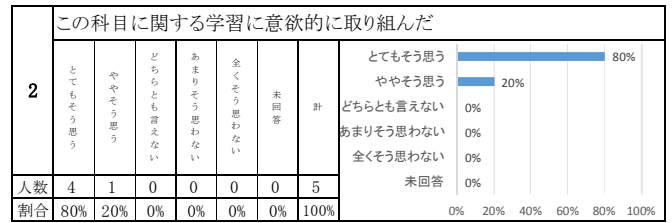
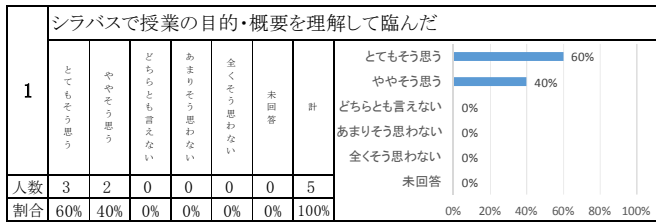
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

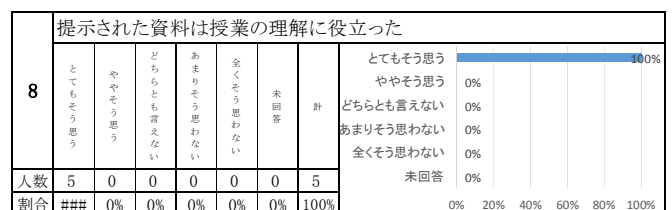
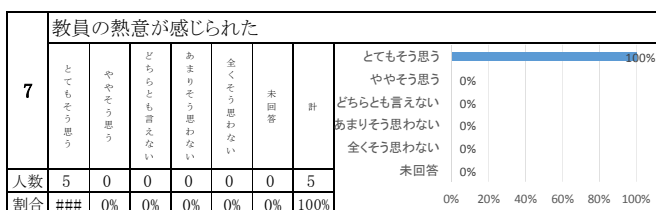
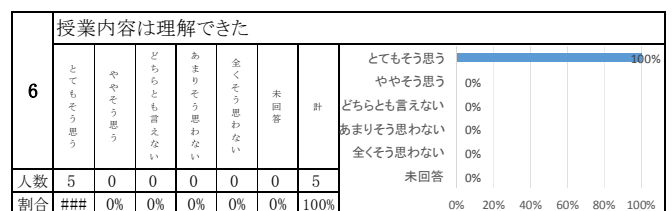
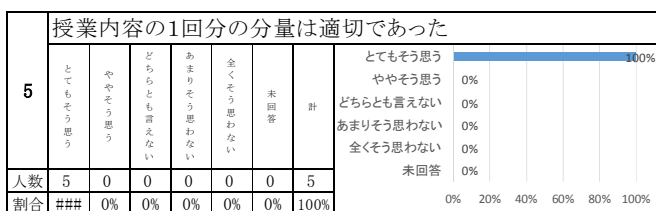
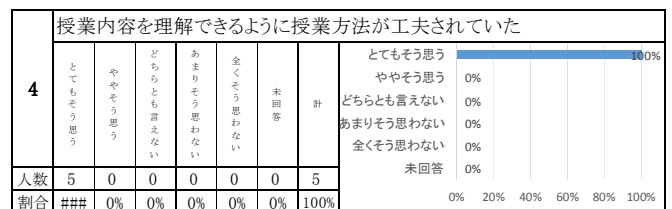
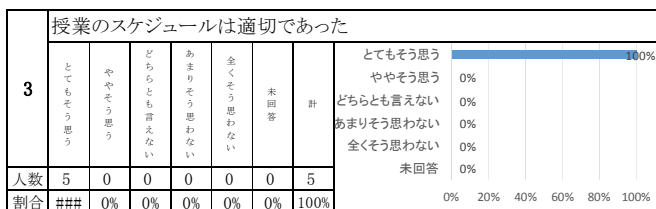
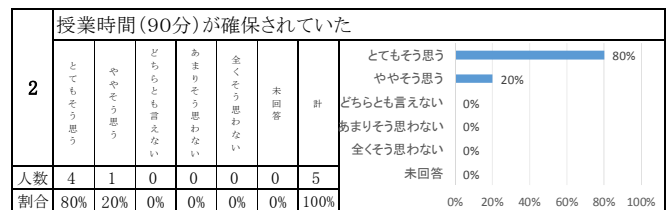
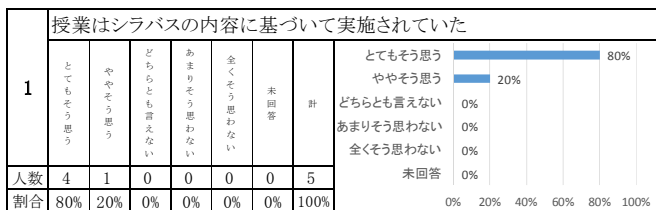
科目: 保健統計学特講

履修者	5
回答者	5
回答率	100.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

統計学は多様性を評価するときに必要な考え方です。1例だけを見てしまうと見逃してしまうことも多数例をまとめると隠れていたことが見えてきます。今後もそのような「ものの見方」を勉強するお手伝いをしていきます。

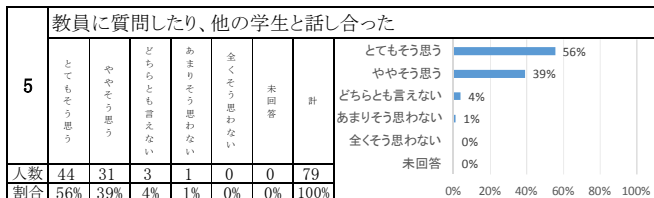
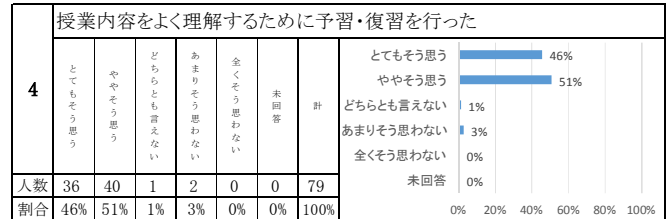
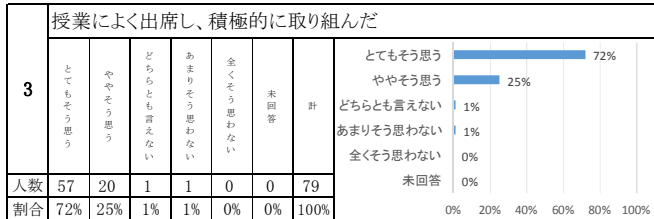
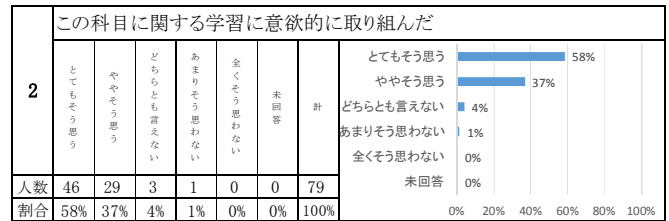
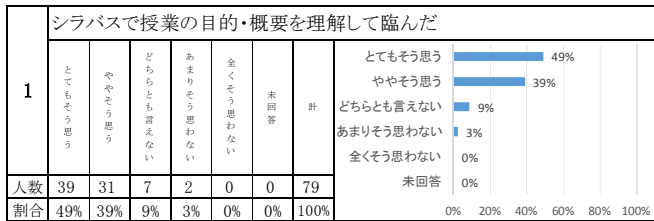
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

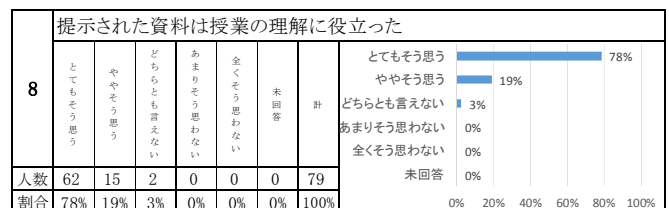
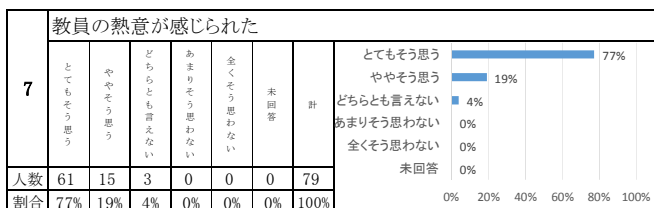
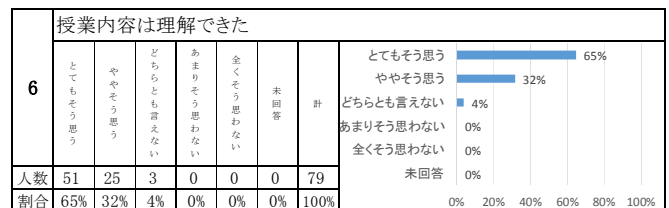
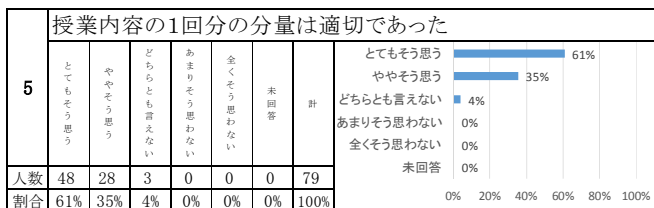
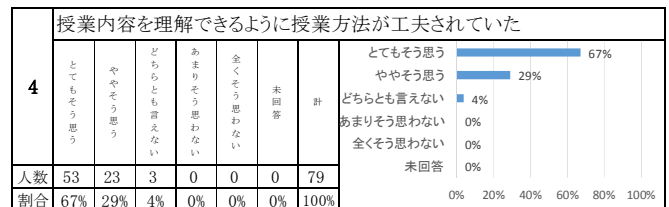
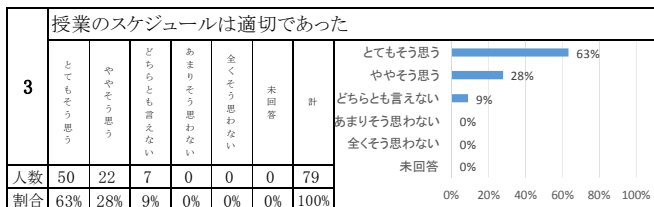
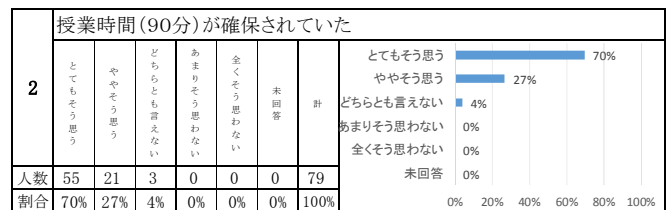
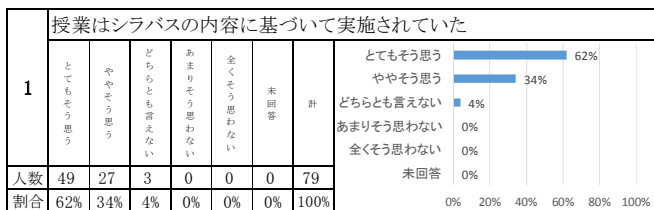
科目: 臨床薬理学特講

履修者	90
回答者	79
回答率	87.8%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

8コマという限られた時間で、臨床薬理学のすべてを網羅することは非常に厳しかったことと思います。講義を通じて、調べ方はある程度理解できたと思いますので、講義の中で触れられなかった薬剤や疾患に応用してください。

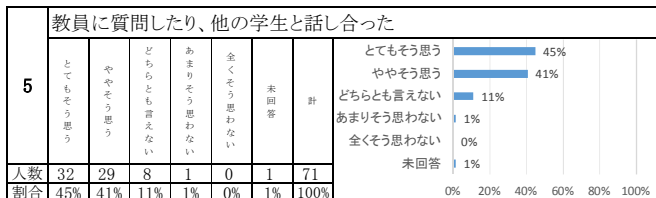
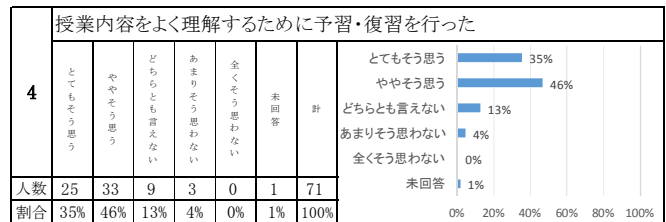
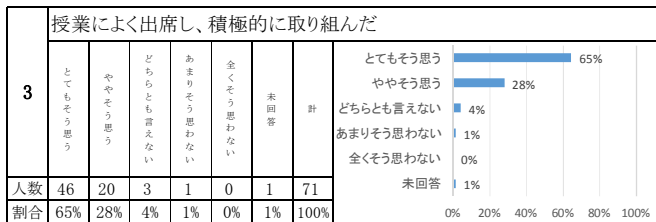
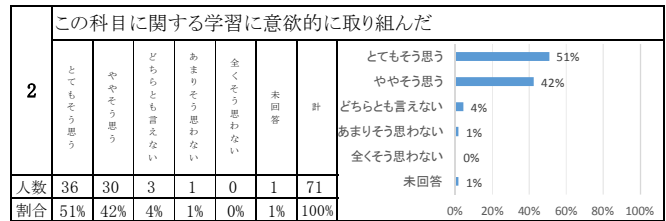
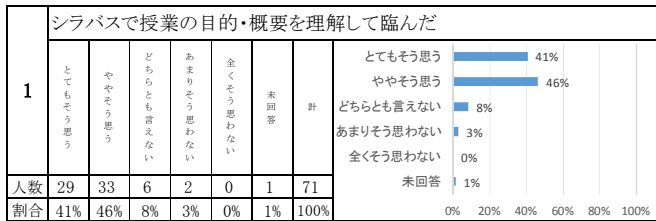
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年： 4 期： 前期

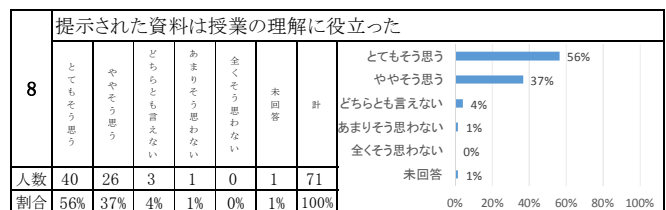
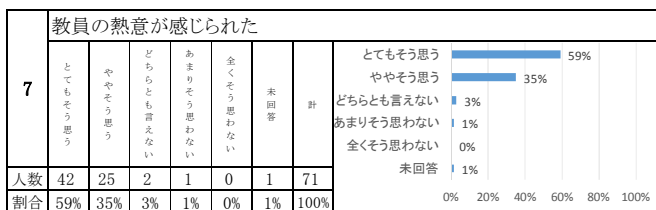
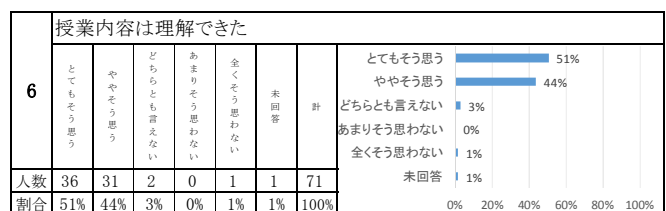
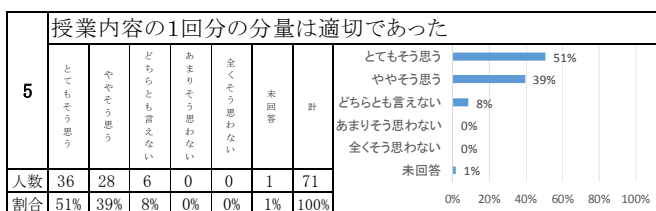
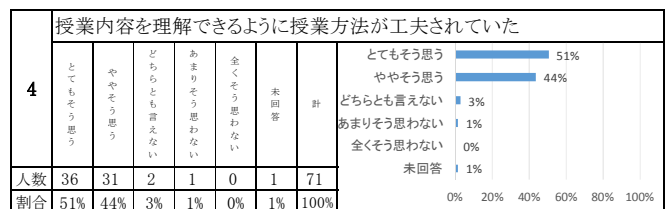
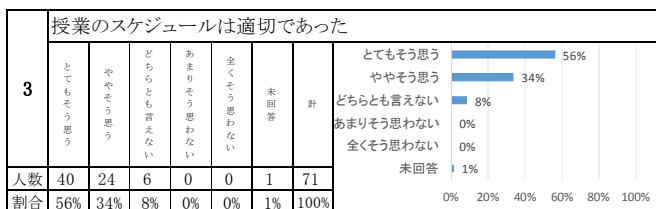
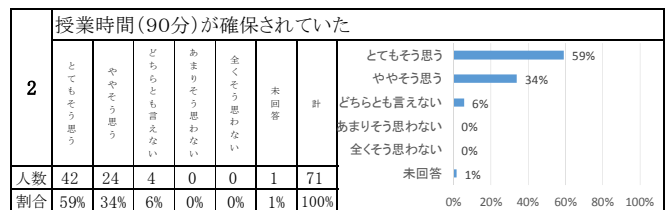
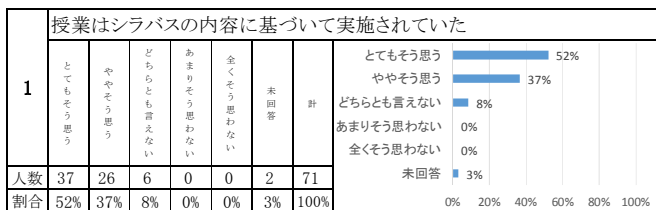
科目： 基礎医学特講

履修者	85
回答者	71
回答率	83.5%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

基礎医学特講は今まで学習した医学的な基礎知識を統合する科目です。全ての科目、実習を終えた4年生対象、ということで授業の進行は早く、ボリュームも多くしました。試験結果も良かったので、さらにこの知識の上に新たなものを積み重ねてください。

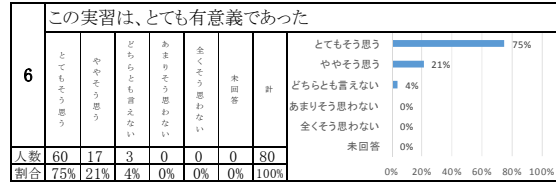
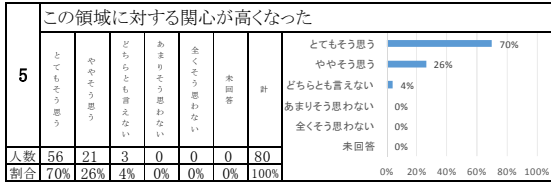
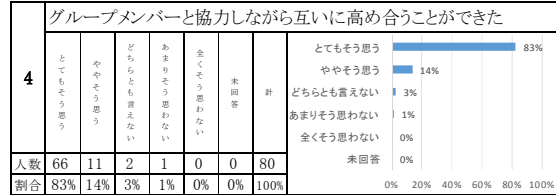
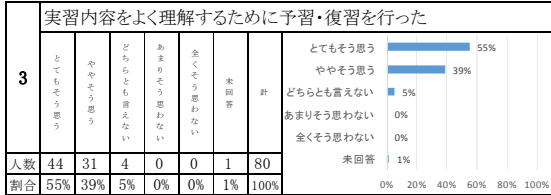
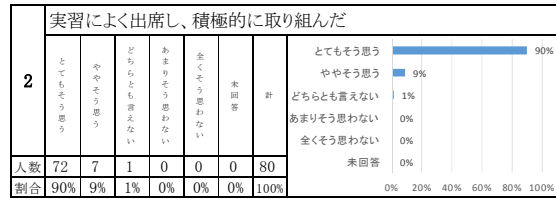
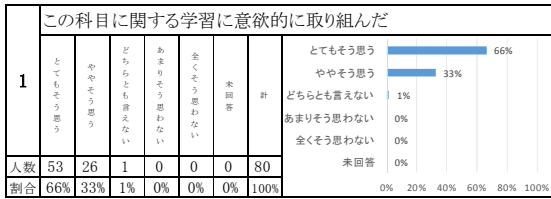
2019年度 授業評価(実習) 集計結果

学年: 4 期: 前期

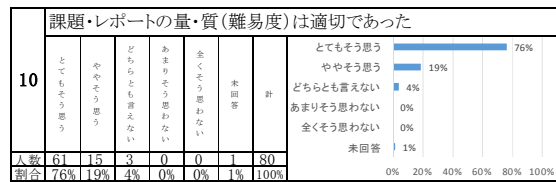
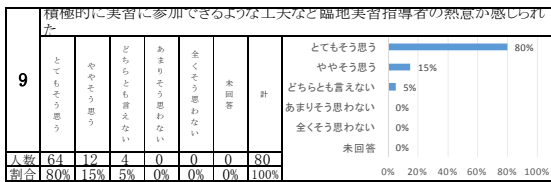
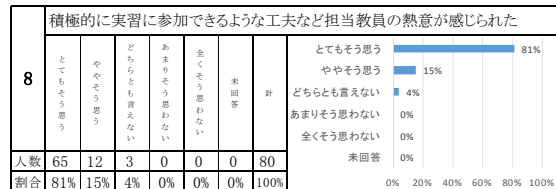
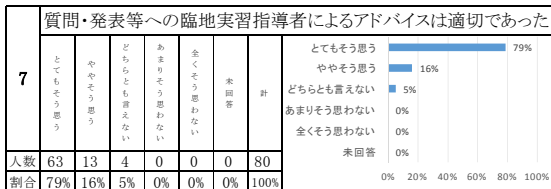
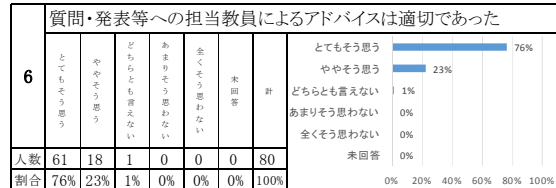
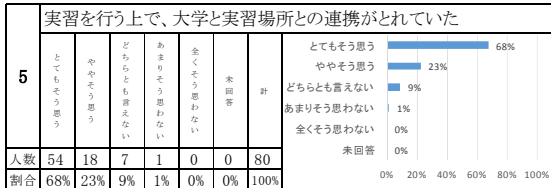
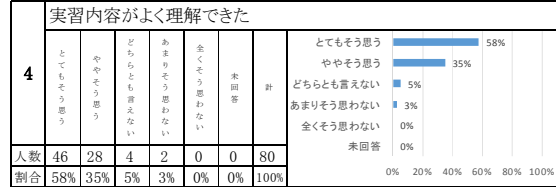
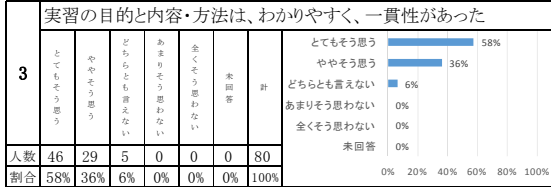
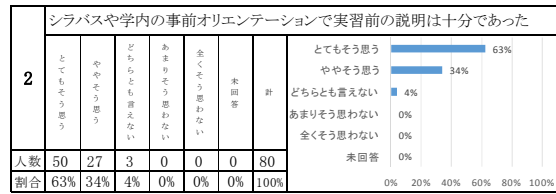
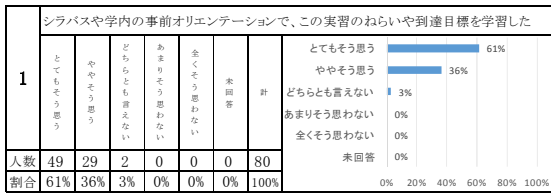
科目: 地域看護学実習

履修者	90
回答者	80
回答率	88.9%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

この科目は今年初開講の実習で、また病院や施設の実習と異なり、雨や寒さの中での地区踏査、初めて会う地域の方々へのインタビューなど戸惑うことも多かったと思います。その中で、グループメンバーと協力しながら実習に積極的に取り組んでいたと思います。皆さんから寄せられたご意見を踏まえて、さらに良い実習ができるように検討、工夫をしていきたいと思います。今回の実習で体験した地域を診ること、地域の人々の温かさ、グループメンバーとの協力の仕方などこれからの看護の中に活かしてください。

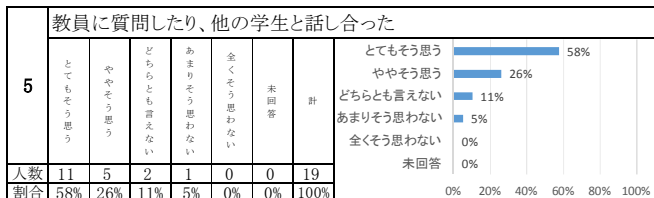
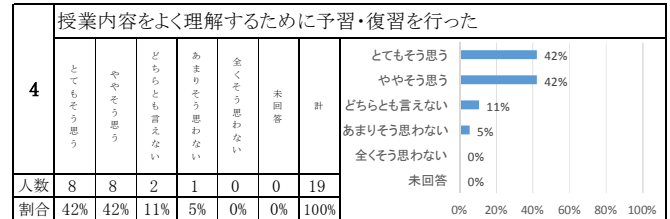
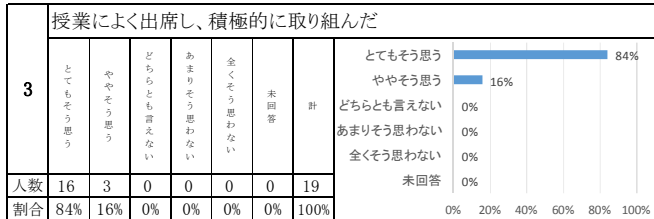
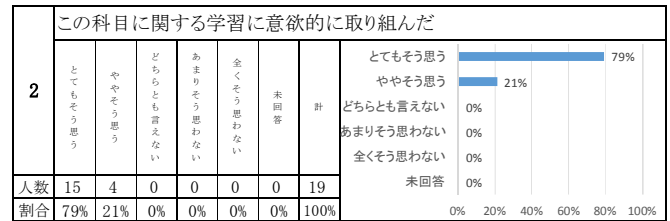
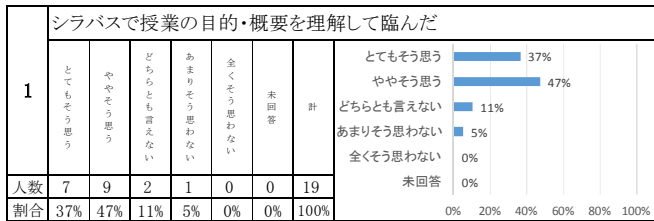
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

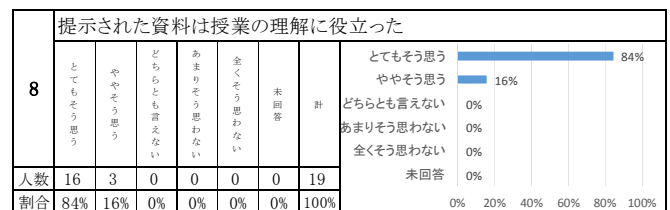
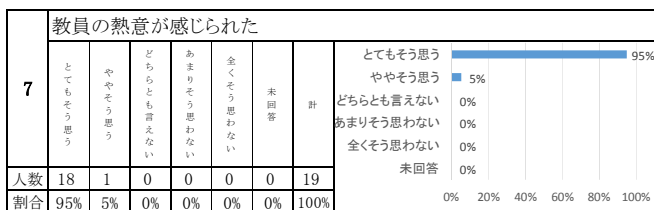
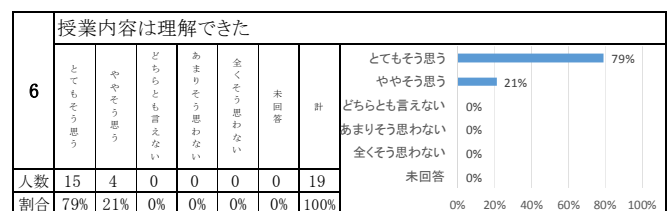
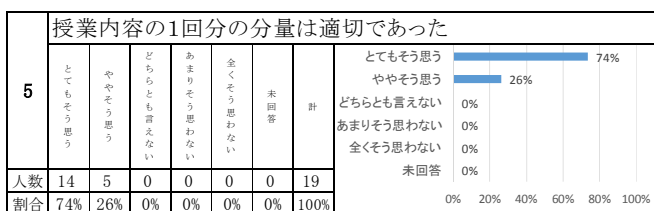
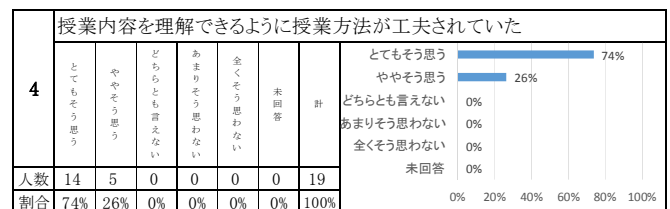
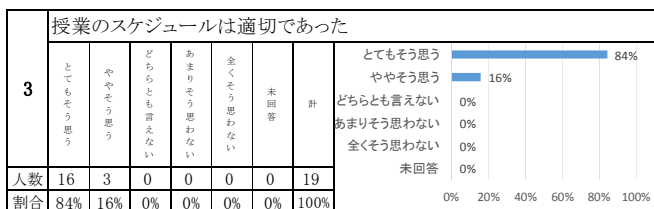
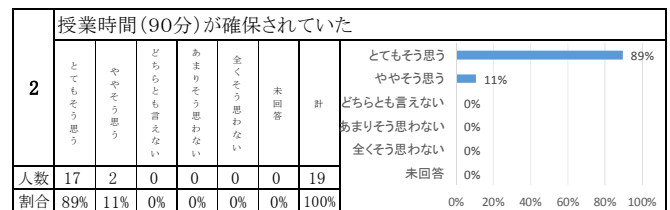
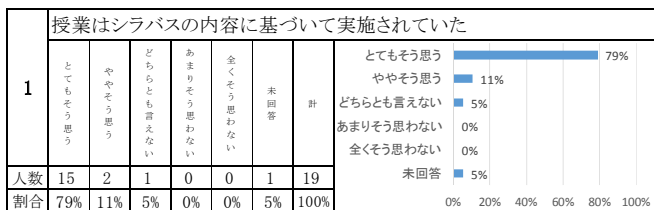
科目: 公衆衛生看護学方法論II

履修者	19
回答者	19
回答率	100.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

地域づくりをすすめるには、グループ支援、地区組織活動、地域ケアシステムの構築は大切になります。授業の中では理解することが難しかったと思いますが、これからの公衆衛生看護学実習の中でどのような地域活動がされていて、その活動に保健師がどのように関わっているのかを学んで欲しいと思います。

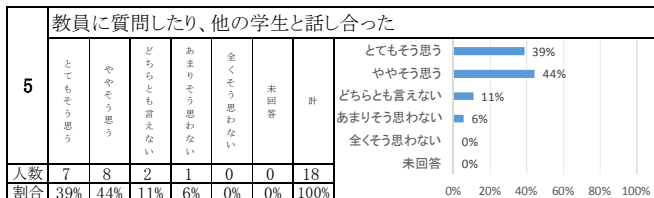
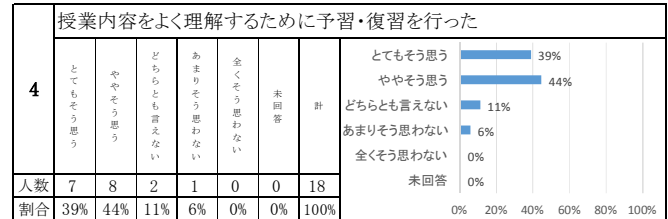
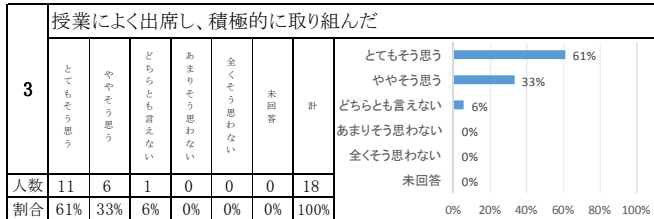
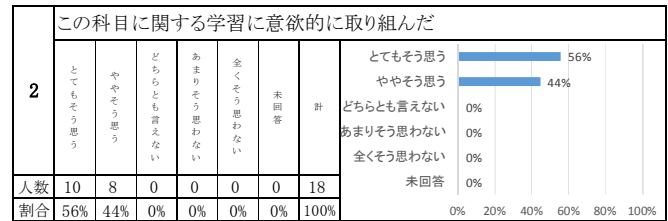
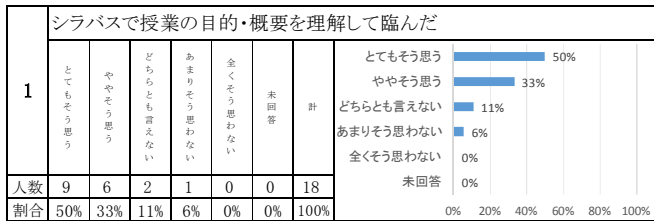
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

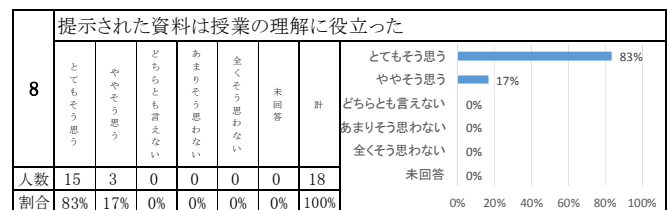
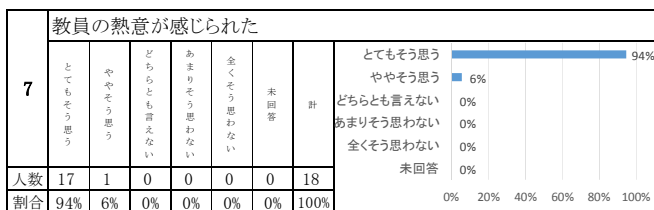
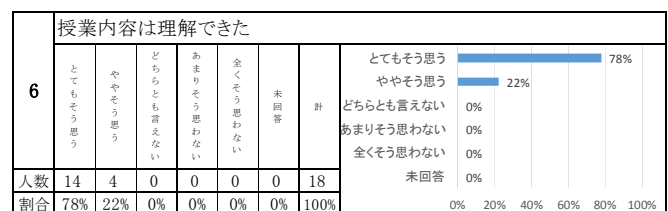
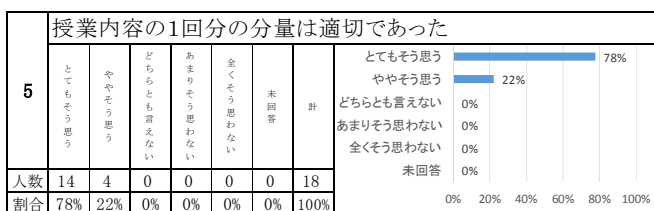
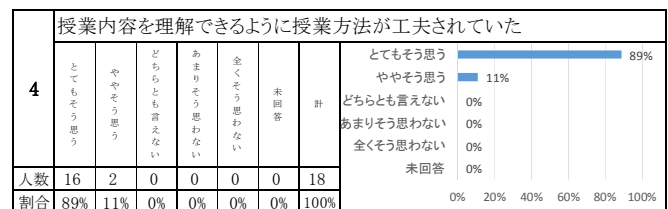
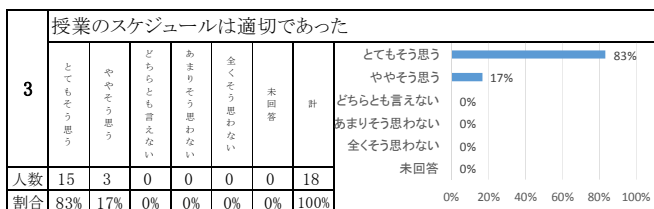
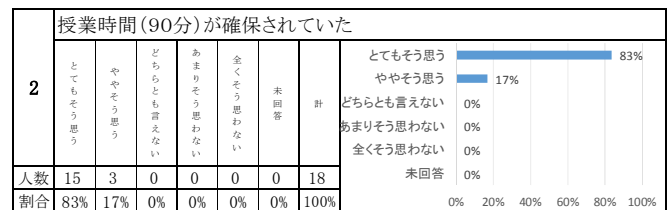
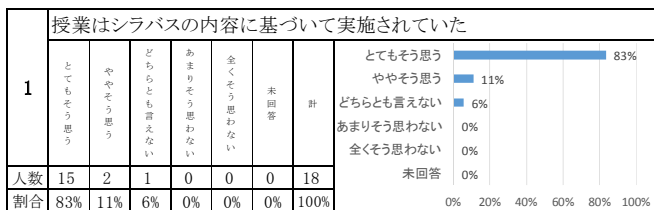
科目: 公衆衛生看護活動論 I

履修者	19
回答者	18
回答率	94.7%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

教員の熱意を感じてもらえたことは良かったと思います。市町村での実習における中心的な内容となりますが、授業時間も少なく、十分に伝えきれなかったことも多いため、実習でさらに具体的な理解を深められるよう取り組んで欲しいと思います。また、国家試験に向けて教科書や参考資料等を振り返り、理解しにくい点がありましたら気軽にご質問ください。

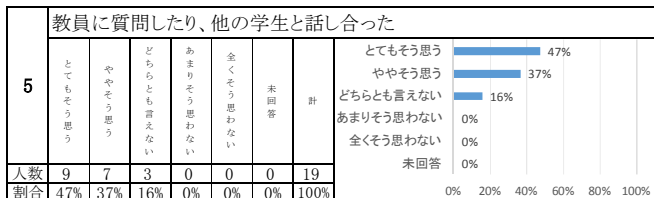
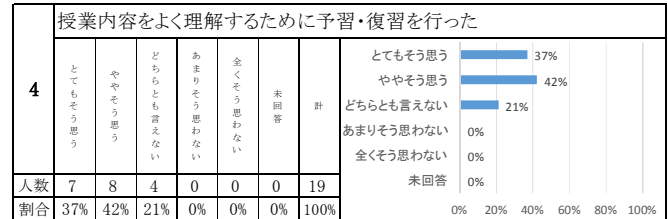
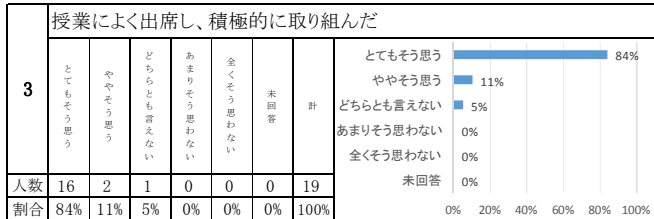
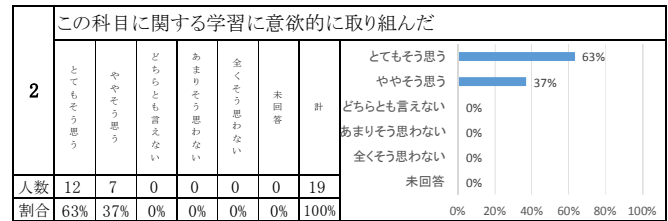
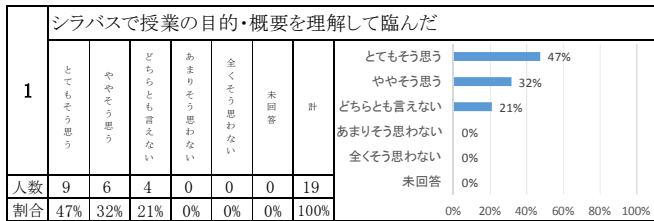
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

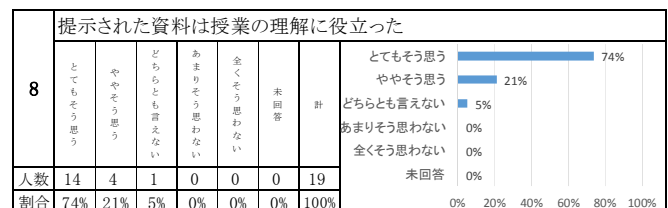
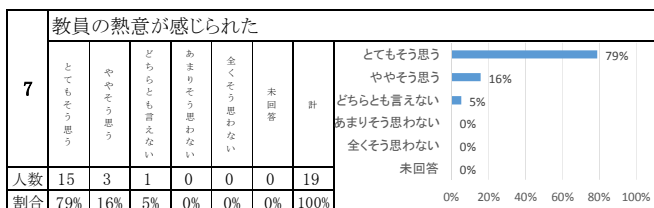
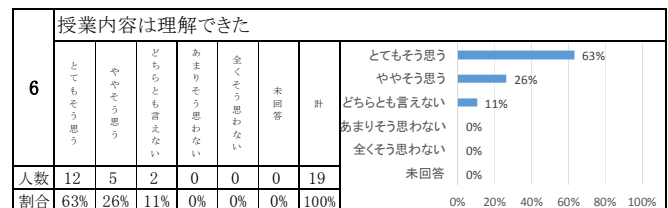
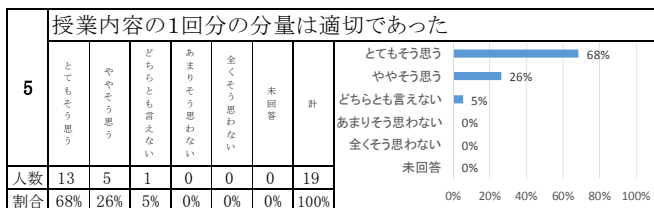
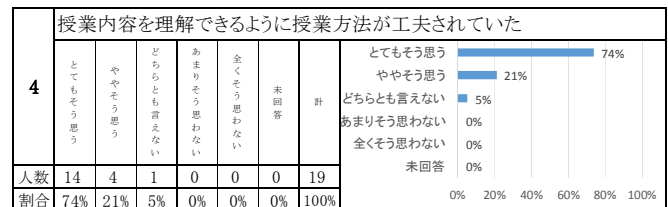
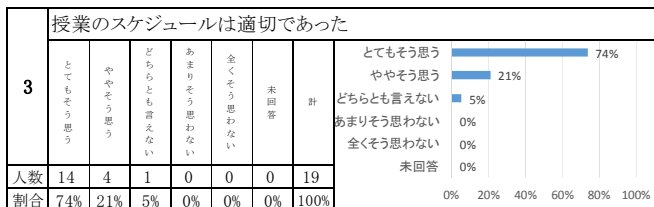
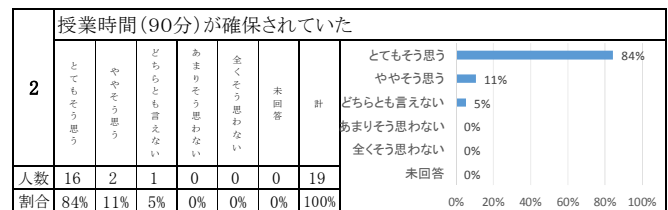
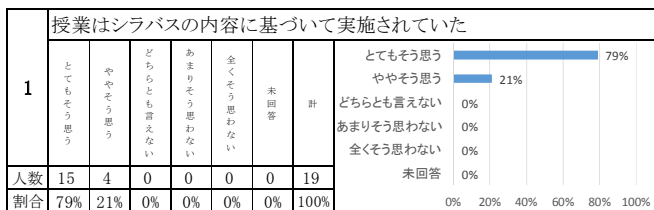
科目: 公衆衛生看護活動論Ⅱ

履修者	19
回答者	19
回答率	100.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

制度の理解も必要となるため、授業内容の難しさもあったと思います。理解が深まるよう、授業の工夫をはかりたいと思います。また、実習で実際の活動にふれることで、理解が深まると思いますので、復習し実習に臨んでください。

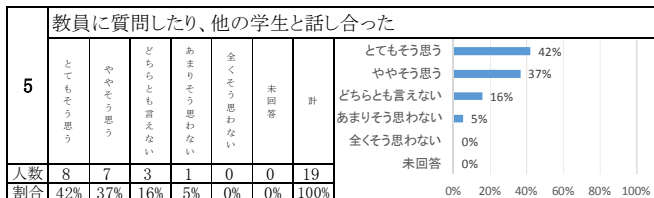
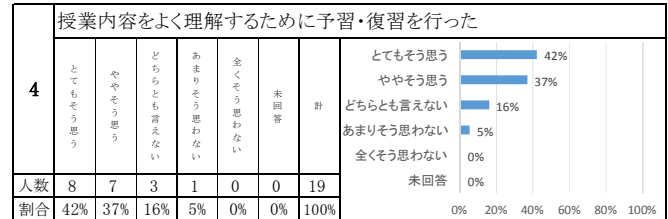
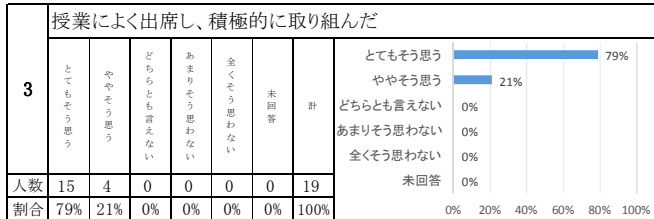
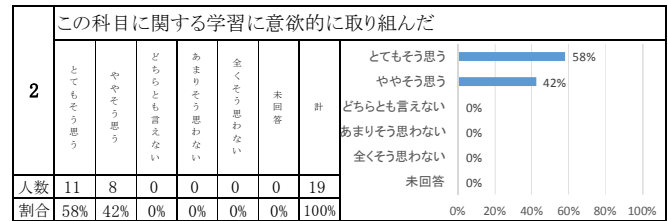
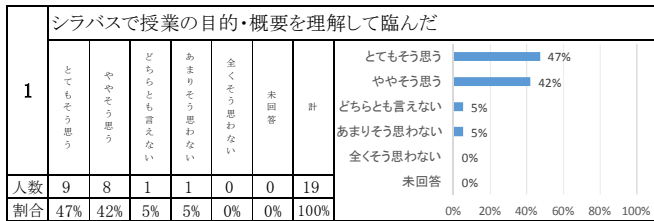
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

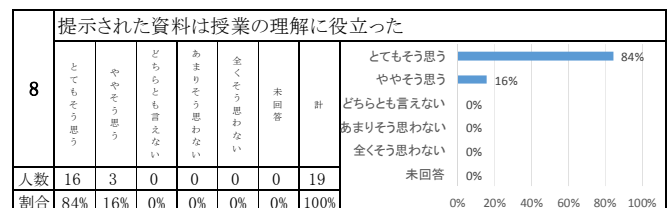
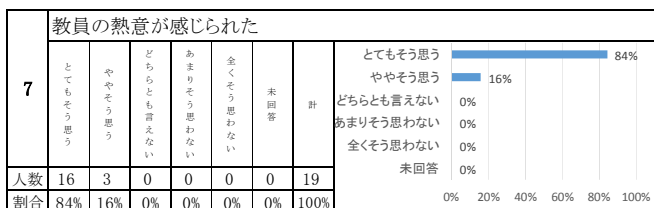
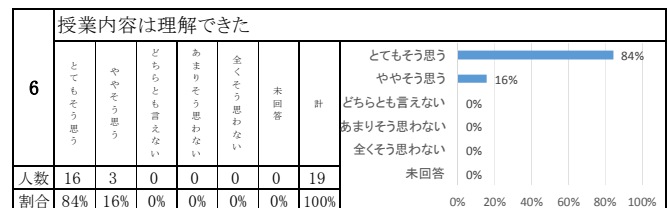
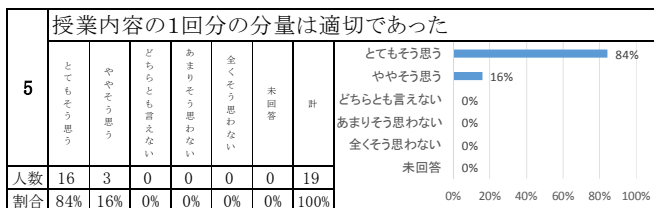
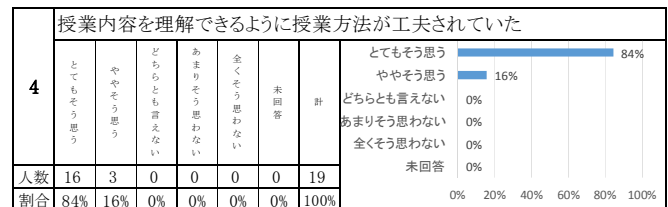
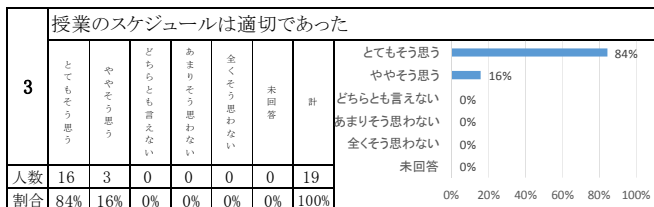
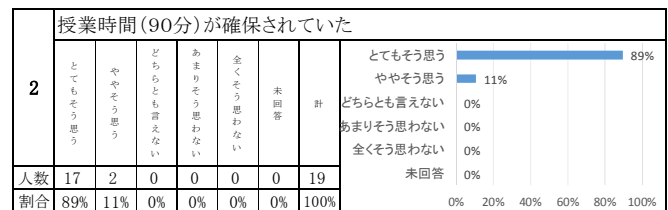
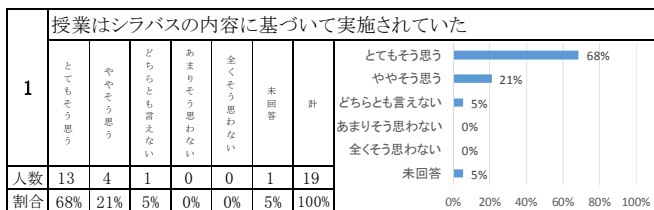
科目: 公衆衛生看護活動論Ⅲ

履修者	19
回答者	19
回答率	100.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

授業の内容についてイメージしにくい分野であり、教員も実際に経験のない分野になるため、どの程度伝わっているのかが不安がありました。しかし、皆さんが興味・関心をもって授業に取り組まれたことについては大変評価できます。わかりやすい授業となるよう、今後も授業資料や進め方等も含めて研鑽を積んでいきます。

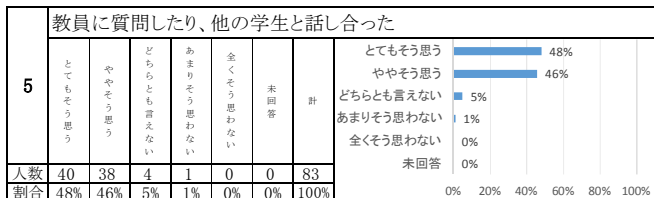
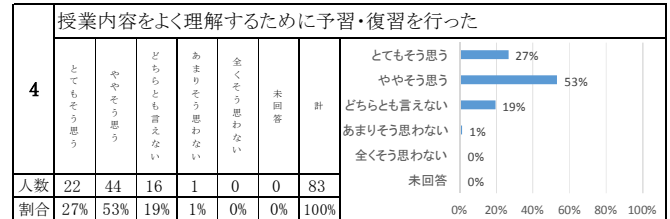
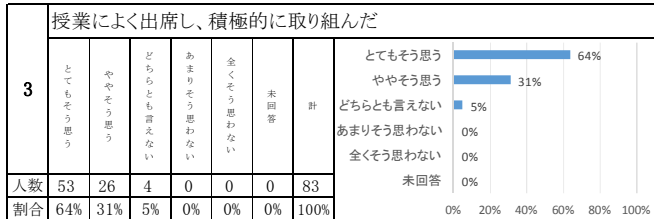
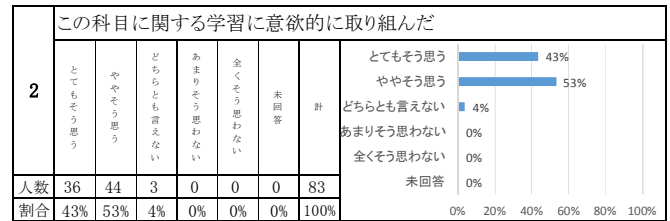
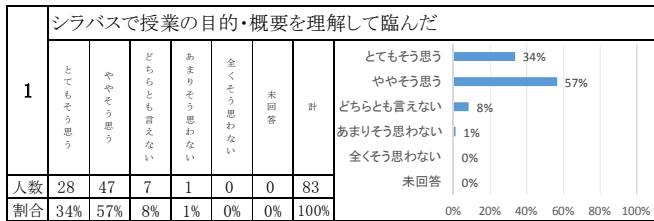
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

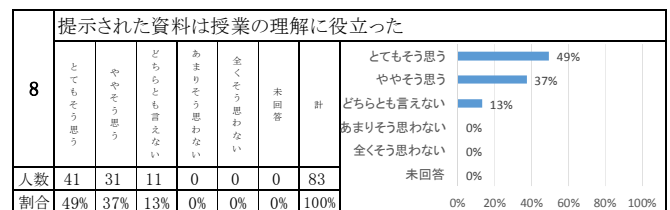
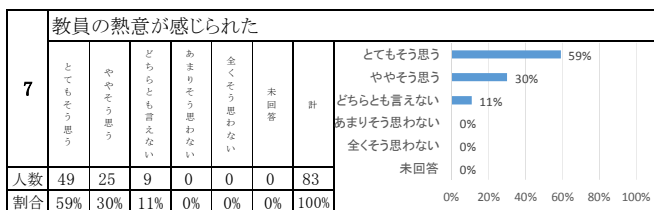
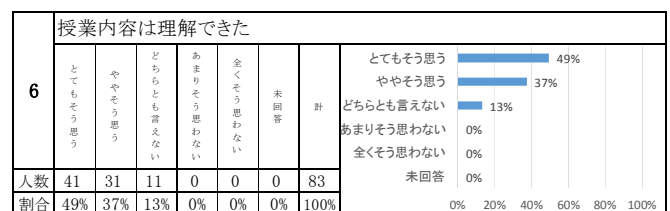
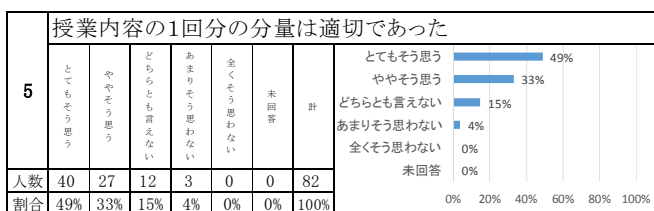
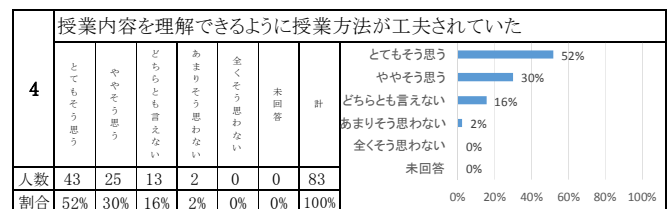
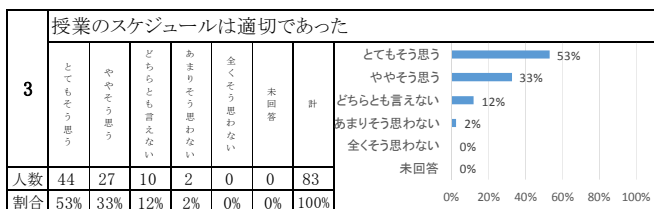
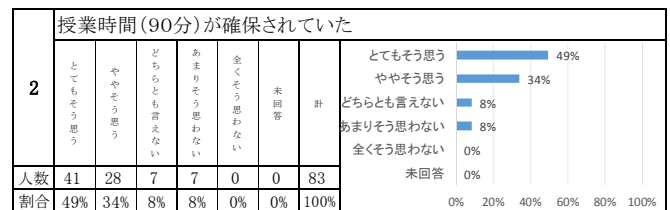
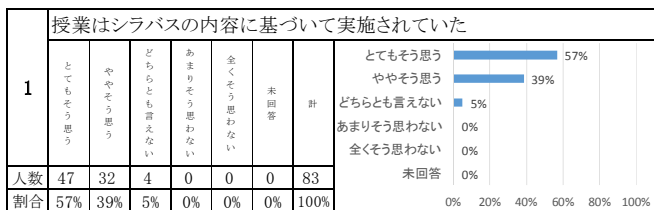
科目: 看護の統合と実践IV

履修者	90
回答者	83
回答率	92.2%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

医療安全について、より考えが深まるよう演習方法、資料について改善していきます。

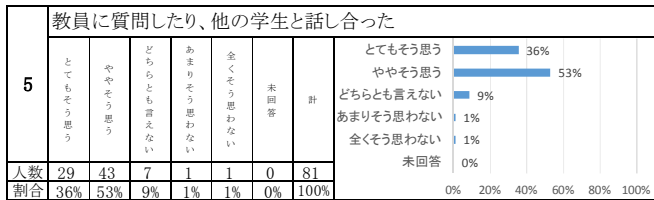
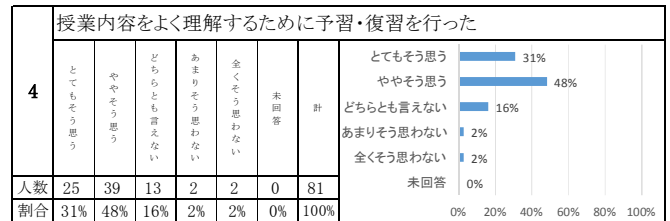
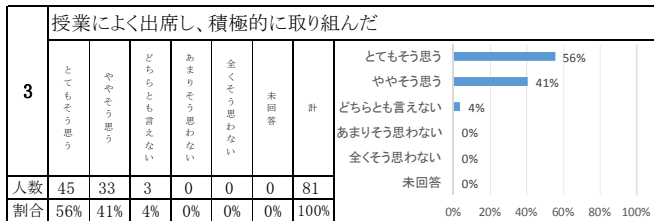
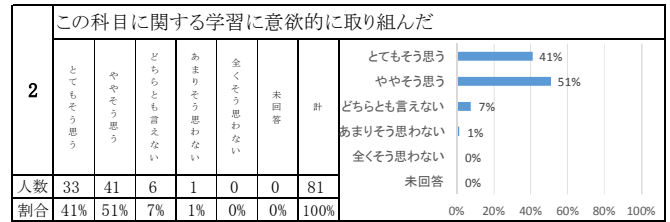
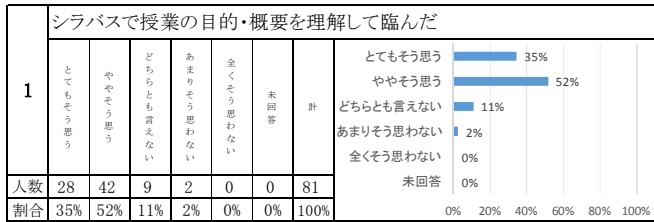
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

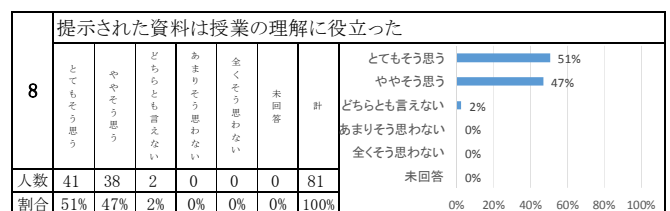
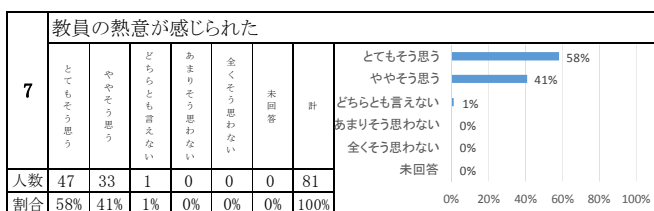
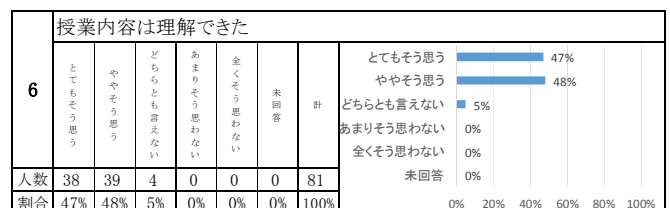
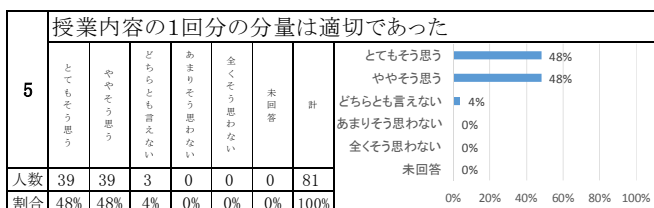
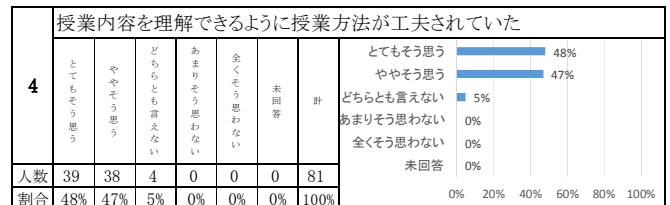
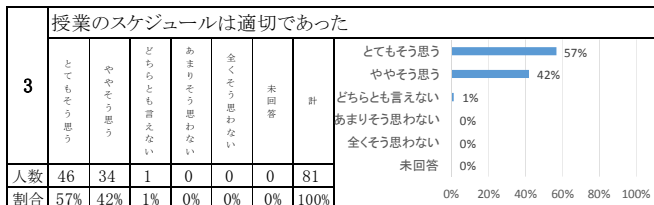
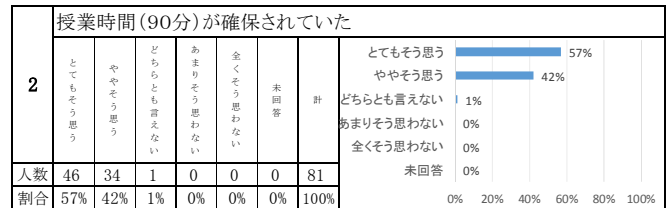
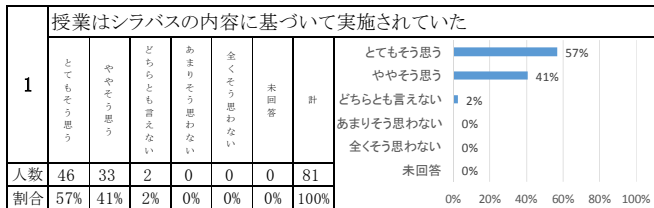
科目: 看護管理学

履修者	90
回答者	81
回答率	90.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

・ご指摘いただいたレポートの配点につきまして、本来、レポート提出は学びの機会として学生に求めております。当初、科目の成績評価を筆記試験100%として提示しておりましたが、本科目の履修は看護総合実習履修の要件となっており、成績を出す期間と実習期間との時間間隔が詰まっている関係上、全ての学生が総合実習に行けるようにレポートも加点の対象としました。当然レポートの加点は全学生に平等に行っております。誤解を招くアナウンスになったことをお詫びします。(山川)

・授業の工夫と配付資料につきましては、より工夫して分かりやすい内容と資料作成に努めます。(山川)

・セルフマネジメントも含め、看護管理はとても重要な知識であると考えております。体験が無い分、難しい内容であることを前提に、理解が深まるような講義内容の工夫を検討してまいります。(山口)

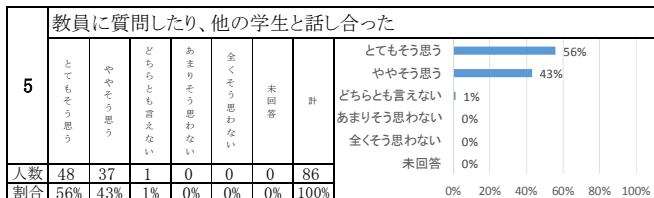
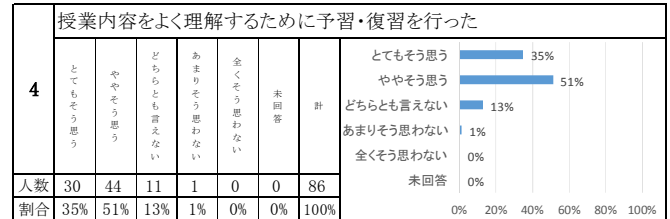
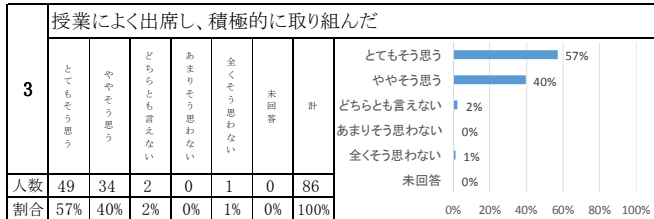
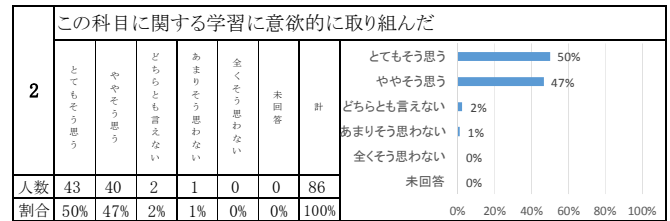
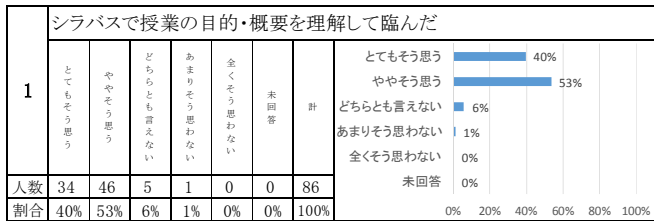
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

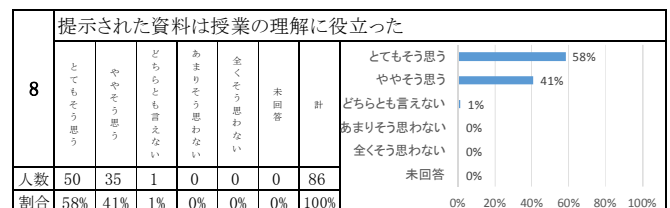
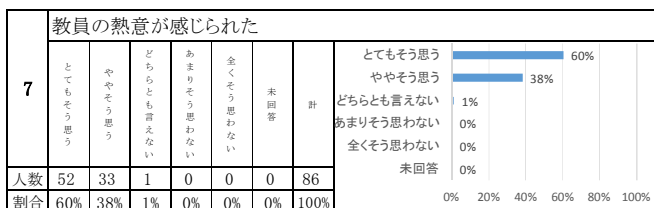
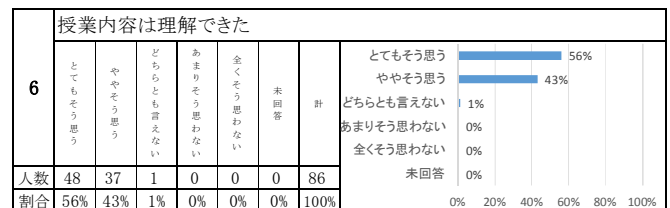
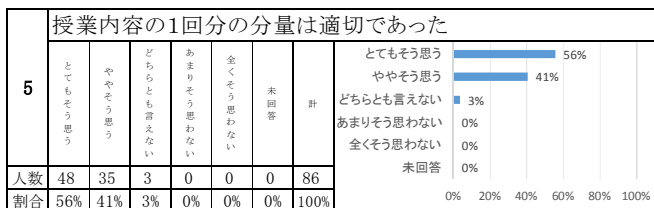
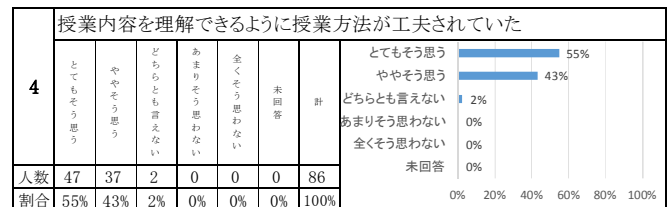
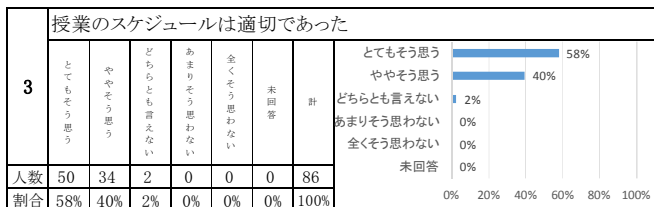
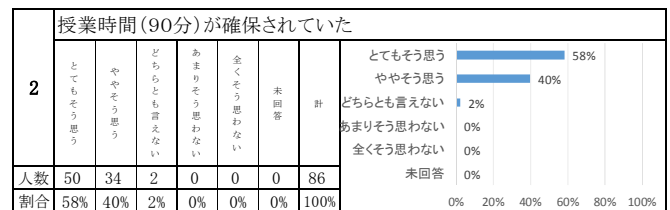
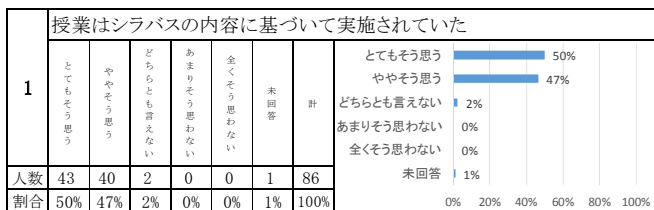
科目: 看護倫理

履修者	90
回答者	86
回答率	95.6%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

倫理という難しいと思われるかもしれませんが、大方の学生が関心を持ち意欲的に受講していたと思います。また、ディベートを取り入れたことで、倫理や看護師の役割を考える機会となり、「ディベートは楽しかった」という記載から、学生の皆さんは興味を持って授業に参加し、学生と教員と一緒に授業を構築することができたと受けとめましたので、この点は今後も継続していきたいと思います。

今後は、皆さんが更に興味を持って能動的に受講できるよう、予習・復習の課題提示などを工夫していきたいと考えました。

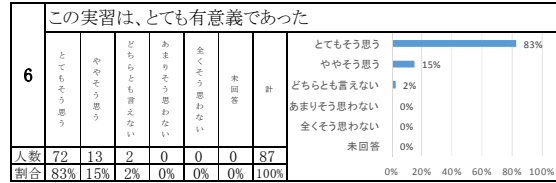
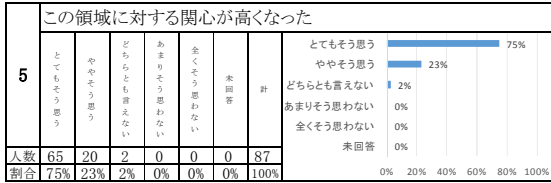
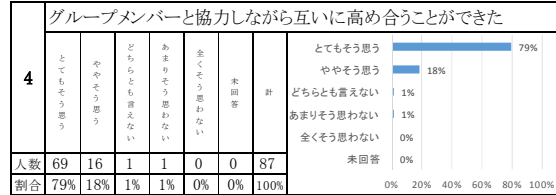
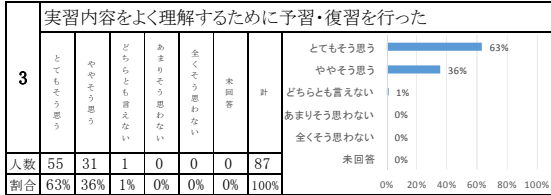
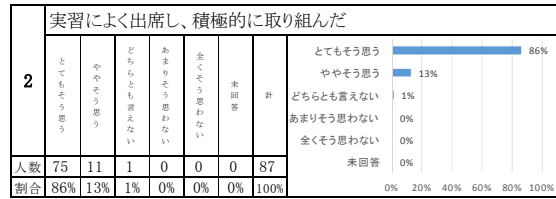
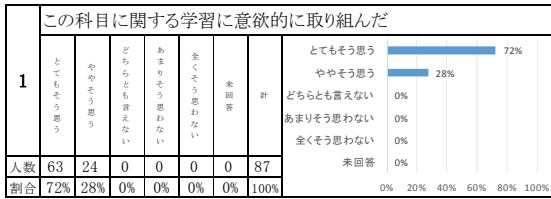
2019年度 授業評価(実習) 集計結果

学年: 4 期: 前期

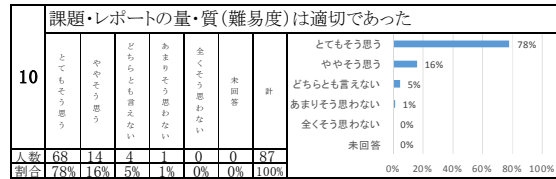
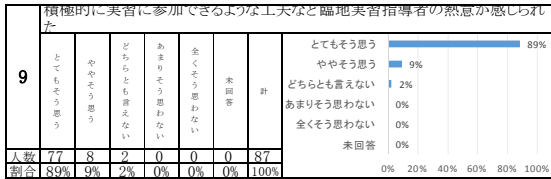
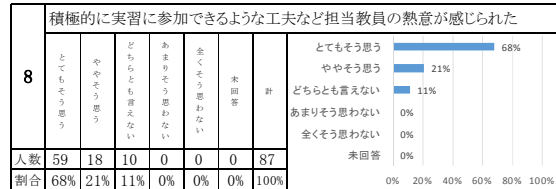
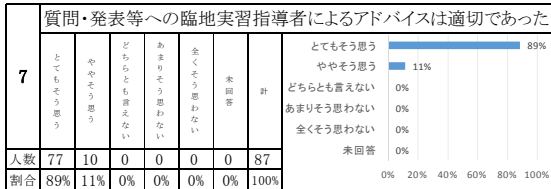
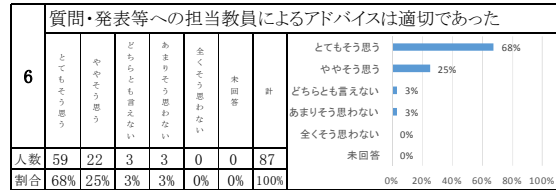
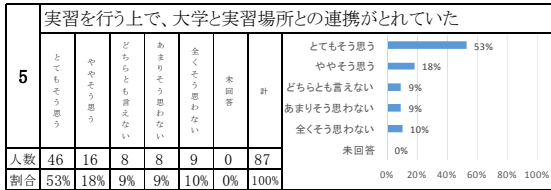
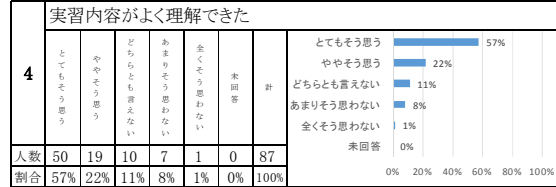
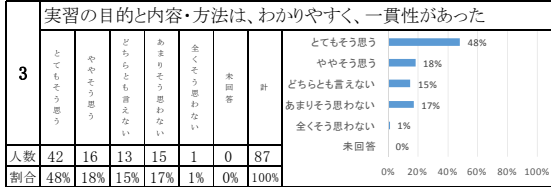
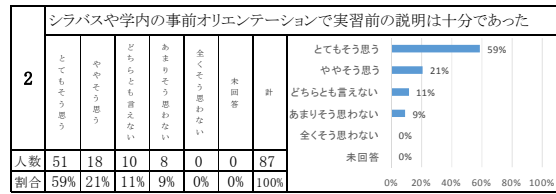
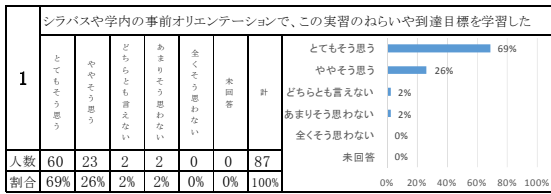
科目: 看護総合実習(全体)

履修者	95
回答者	87
回答率	91.6%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

実習を行う上で、大学と実習場所との連携についてご意見ありがとうございます。病棟数が多い病院では、学生および指導者が不安なく実習ができるように実習スケジュール等も今後も密に連携がとれるように努めます。

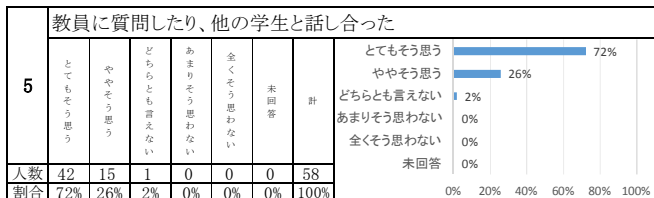
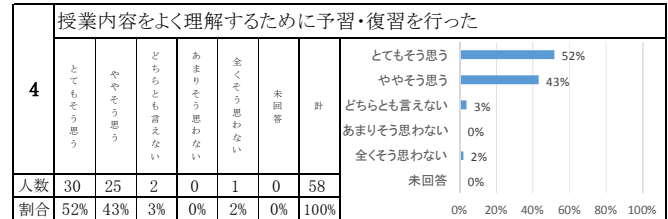
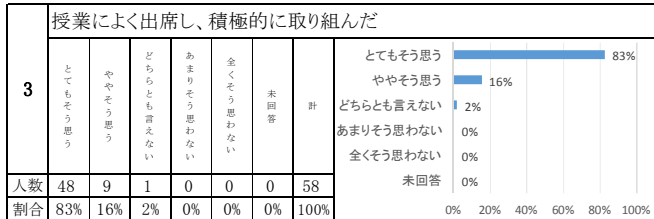
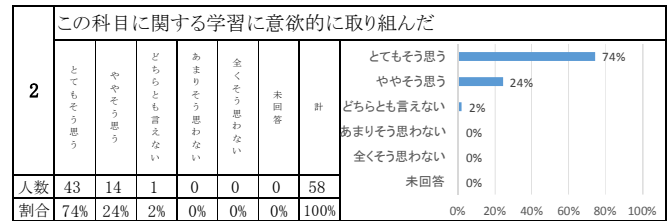
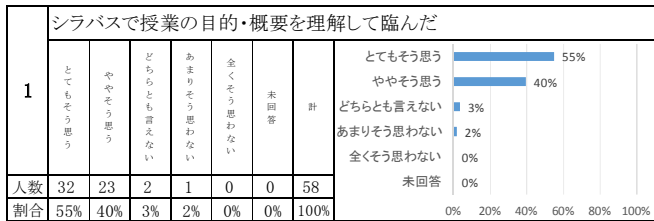
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

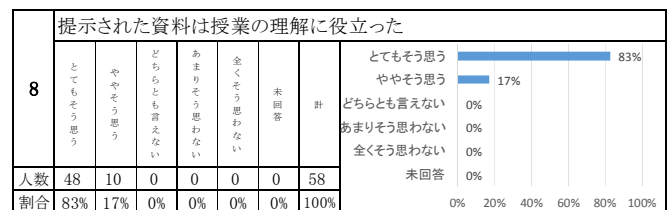
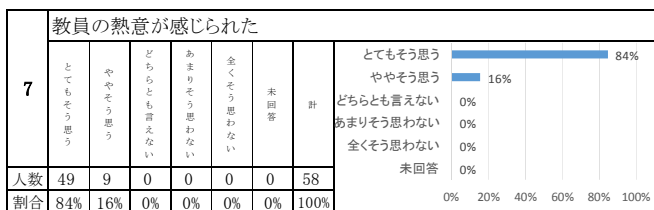
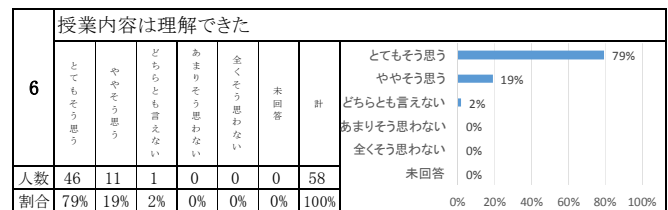
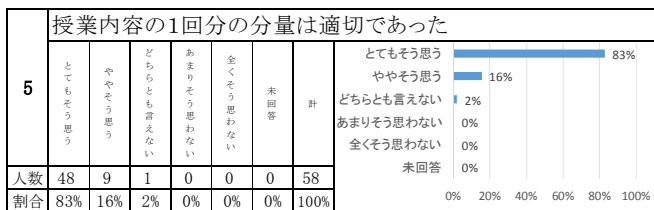
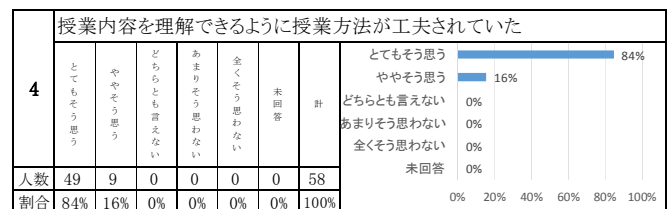
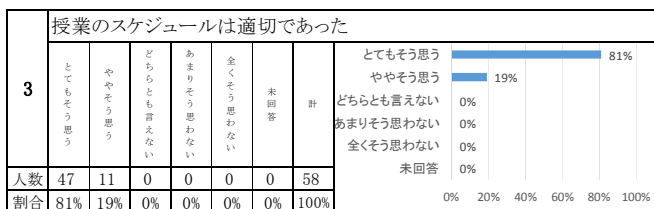
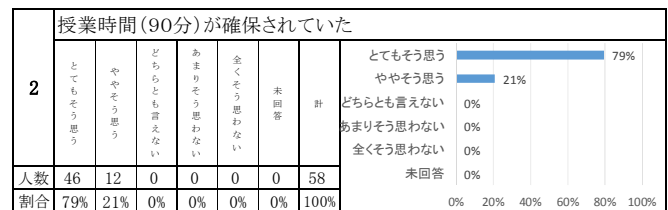
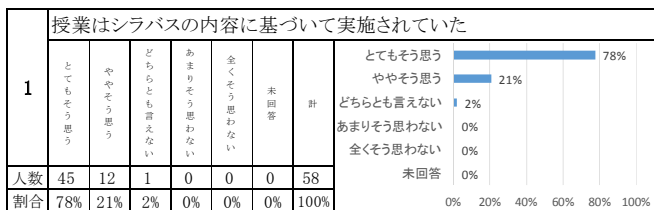
科目: クリティカルケア特講

履修者	61
回答者	58
回答率	95.1%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

4年次生の科目であることから、国家試験で活用できる知識の伝達のみならず、臨床での事例を活用し、ディスカッションを取り入れた講義内容であった。多くの学生が「授業に対して積極的に参加した」と認識しており、担当教員としてとても嬉しい結果となった。今後はより学生の自由な発言が可能となるよう学習環境を整えていきたい。

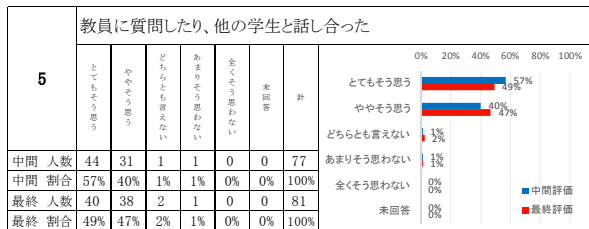
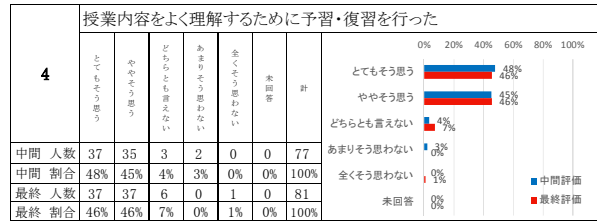
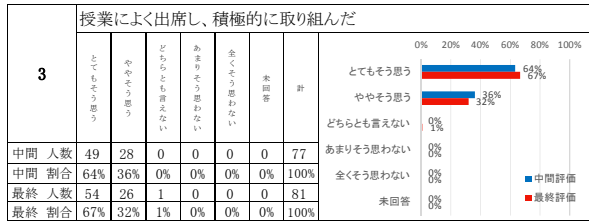
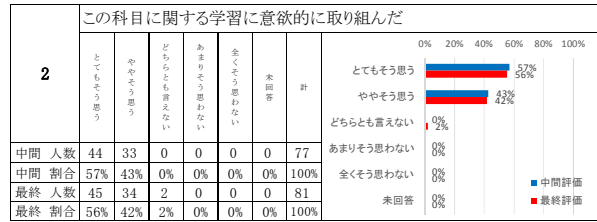
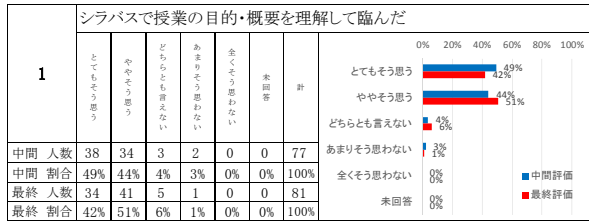
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【比較】

学年: 4 期: 前期

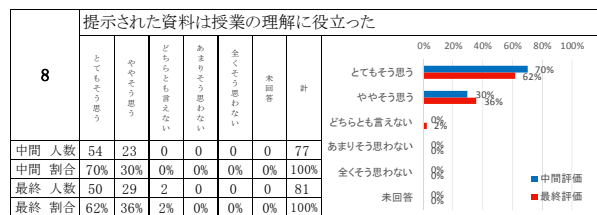
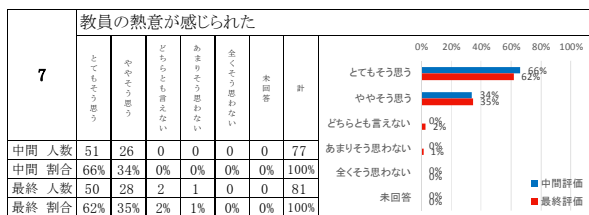
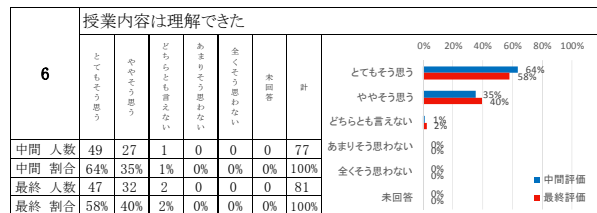
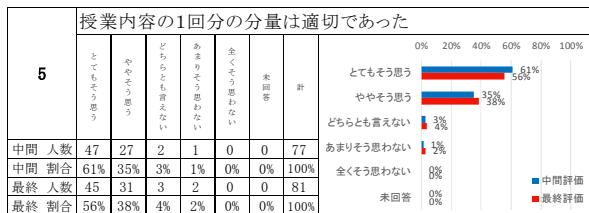
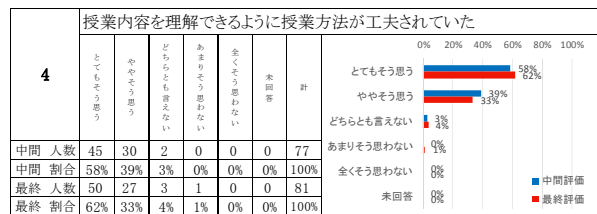
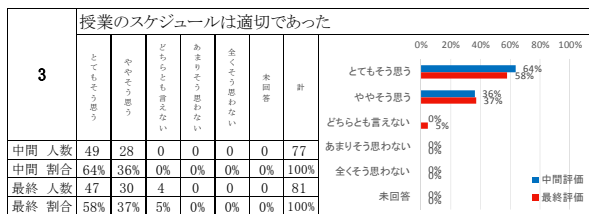
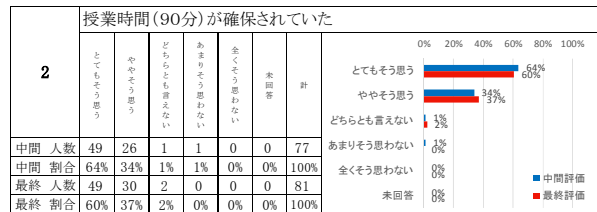
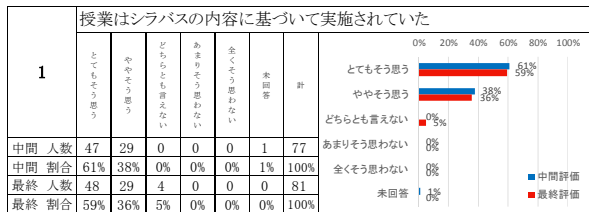
科目: 基礎看護学特講

履修者	90
回答者	中間 77 最終 81
回答率	中間 85.6% 最終 90.0%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

多くの学生の皆さんが選択し、意欲的に取り組んでいました。わからないことをそのままにしないで、調べる習慣をつけ理解して行って下さい。

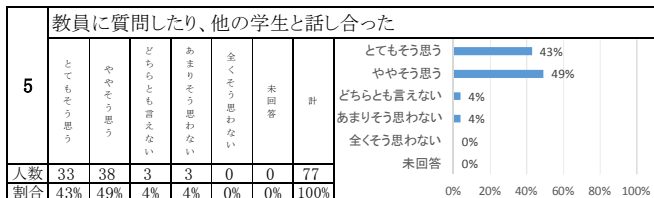
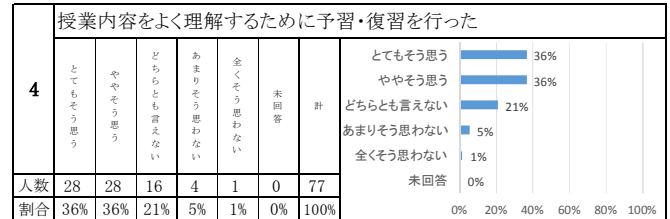
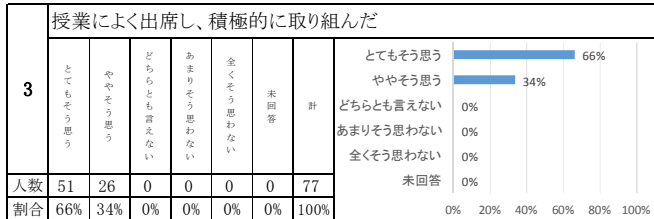
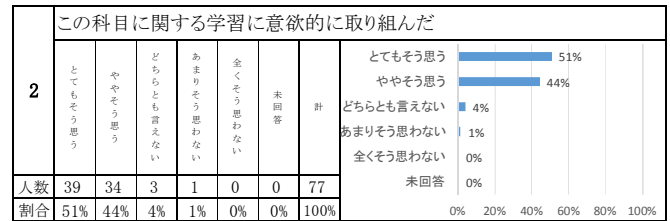
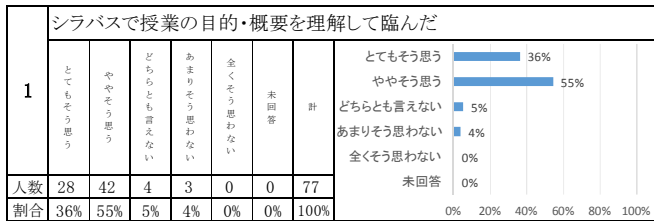
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

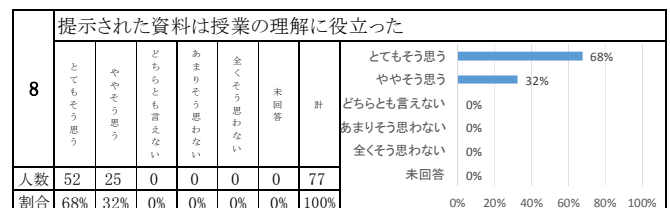
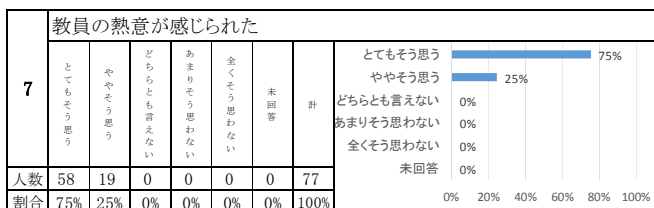
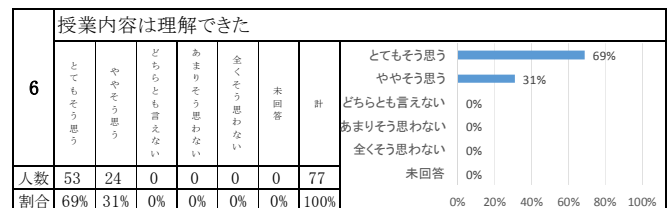
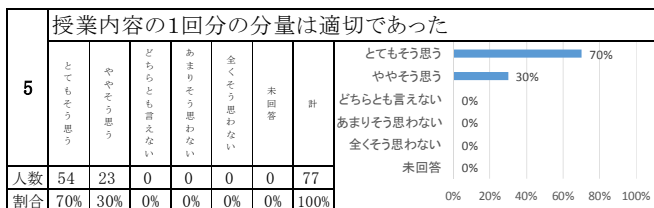
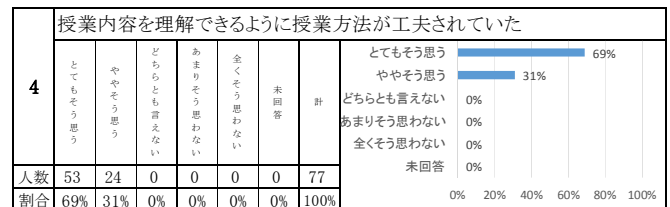
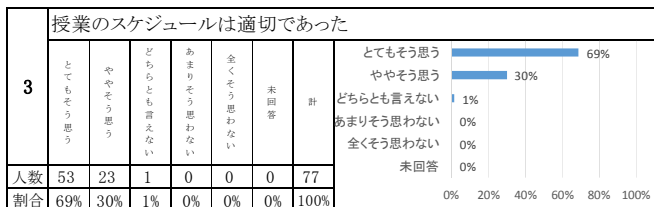
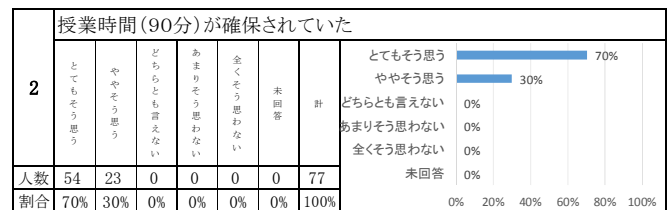
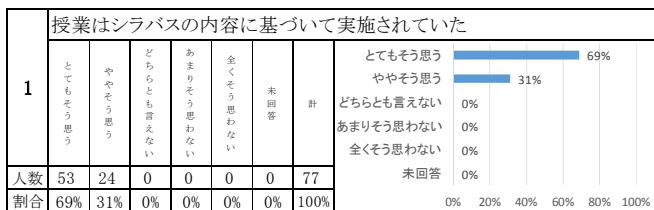
科目: 災害看護論II

履修者	90
回答者	77
回答率	85.6%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

講義だけでなく、演習も取り入れながらの授業であり、皆さんの意欲が高く維持されていたように思います。将来、赤十字の看護師として、この授業で学んだ事を活かせるような授業を今後も展開していきたいと思ひます。

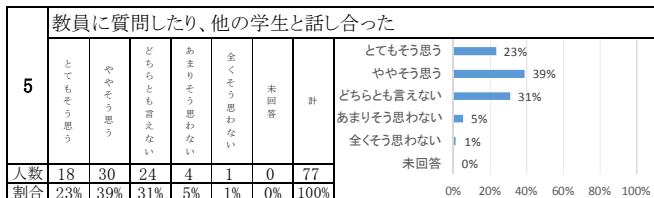
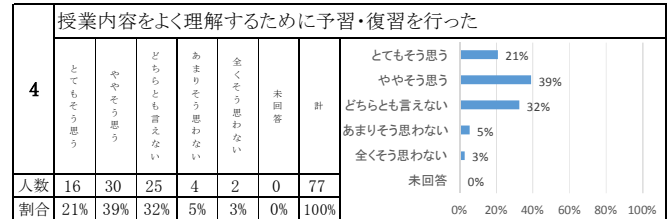
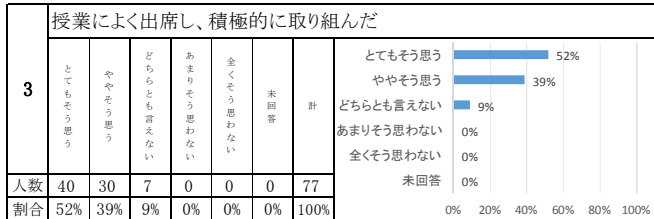
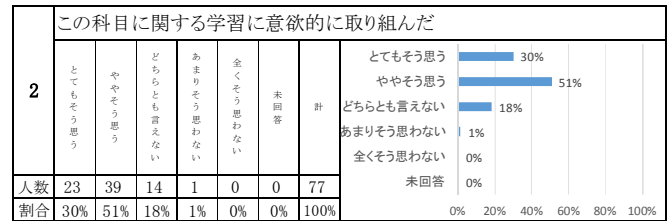
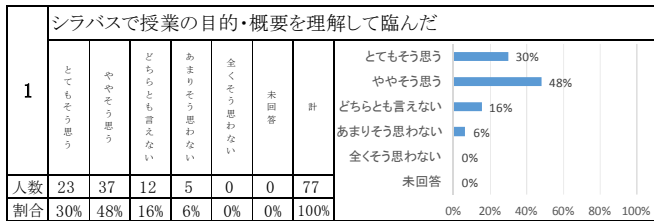
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

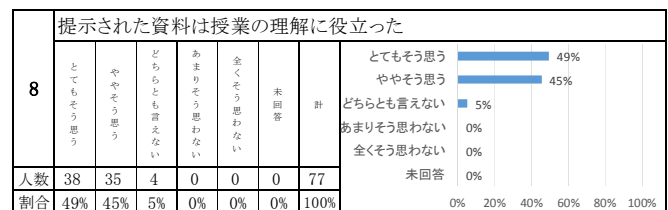
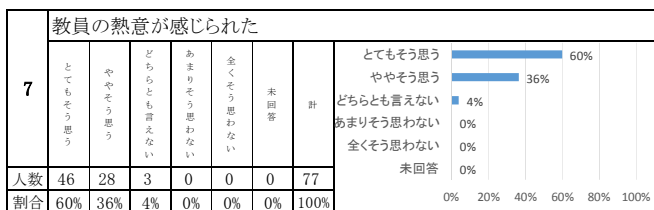
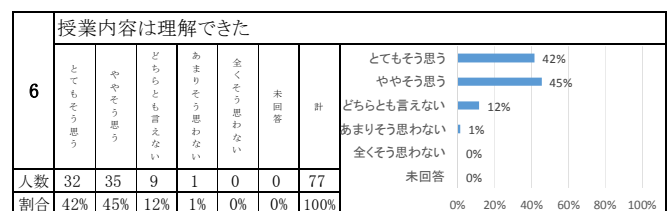
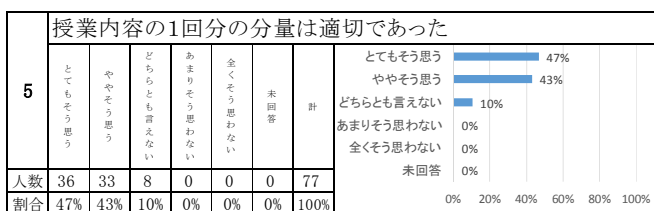
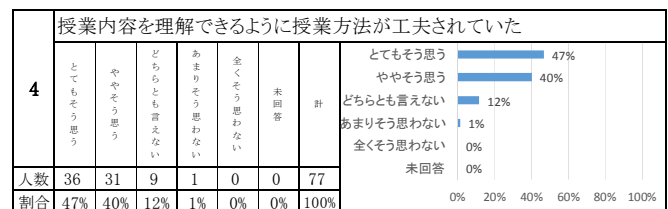
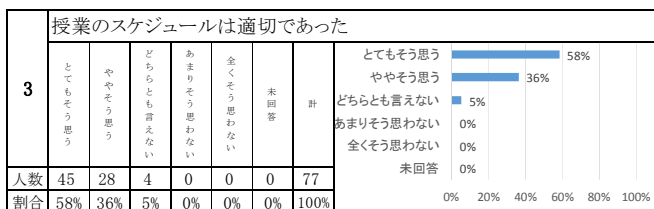
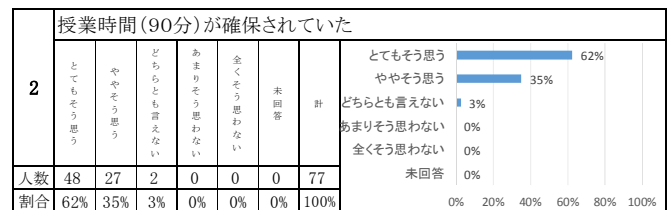
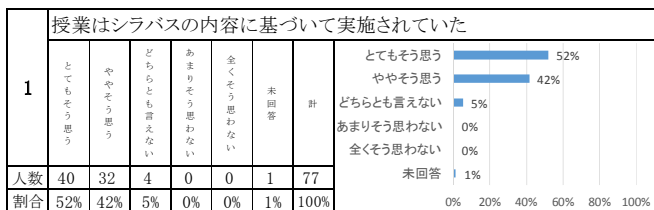
科目: 国際保健学

履修者	90
回答者	77
回答率	85.6%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



教員コメント

最初の4コマは教科書に基づく理論編で、後半の4コマで実際の活動に即して理解を深めてもらえるように計画しました。最初に知識レベル、疑問点などについて把握し、後半担当の教員と共有しました。できる限り疑問点などに触れながら講義を進めました。残念だったのは、シラバスで示した教科書(大幅改定の本年1月発行の第4版)ではなく、ほとんど全員が第3版を持参(学習)していたことです。

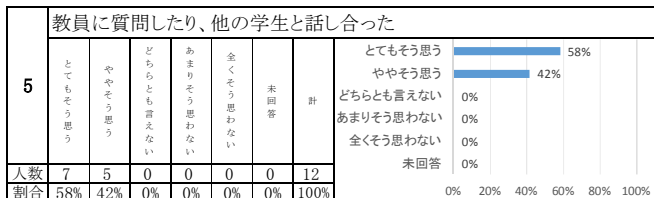
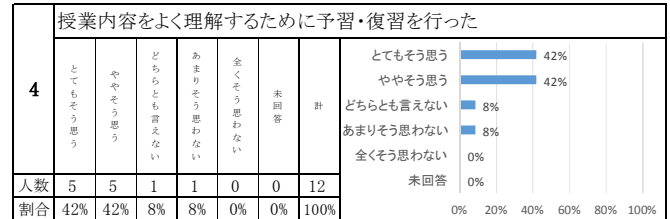
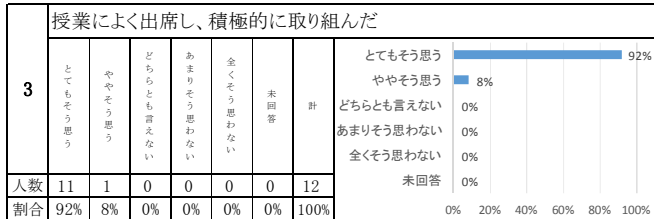
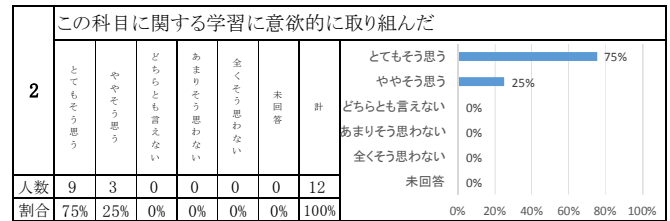
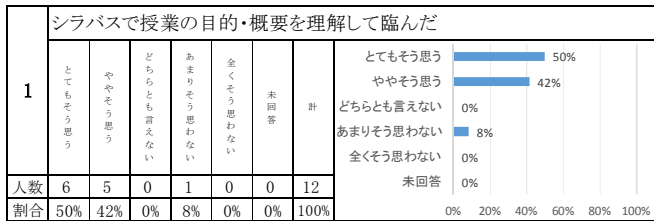
2019年度 授業評価(講義) 集計結果【最終】

学年: 4 期: 前期

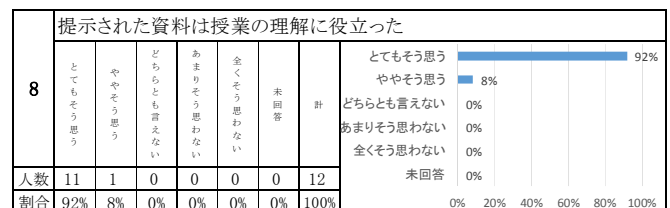
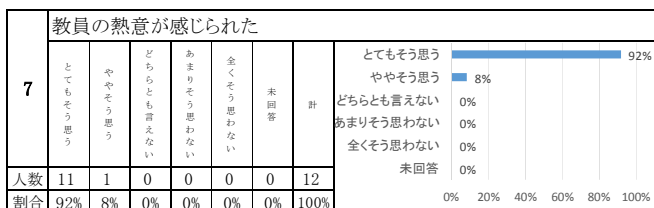
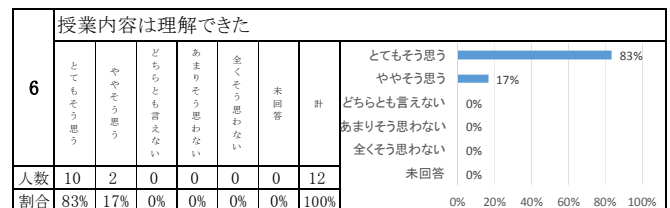
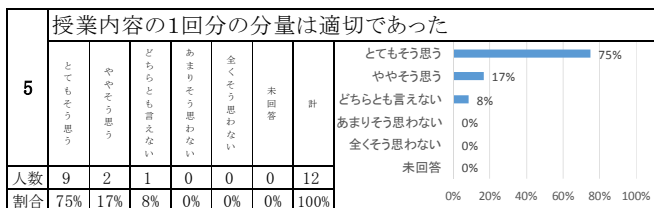
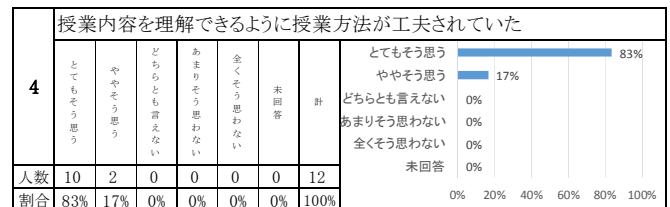
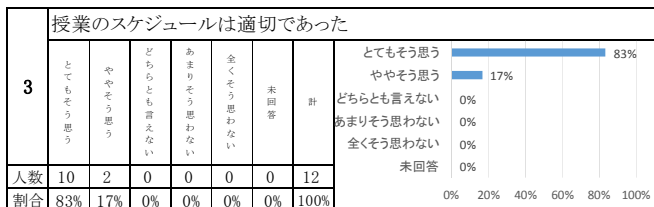
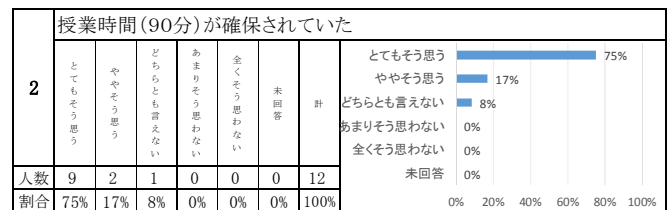
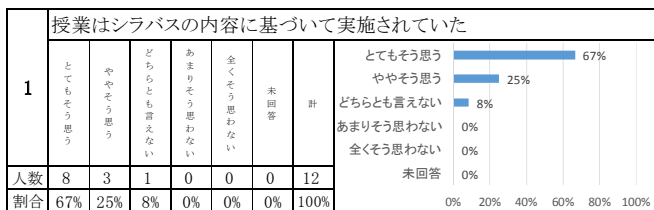
科目: 赤十字健康生活支援法

履修者	14
回答者	12
回答率	85.7%

I. 学習への取り組みについて



II. 内容及び進め方について



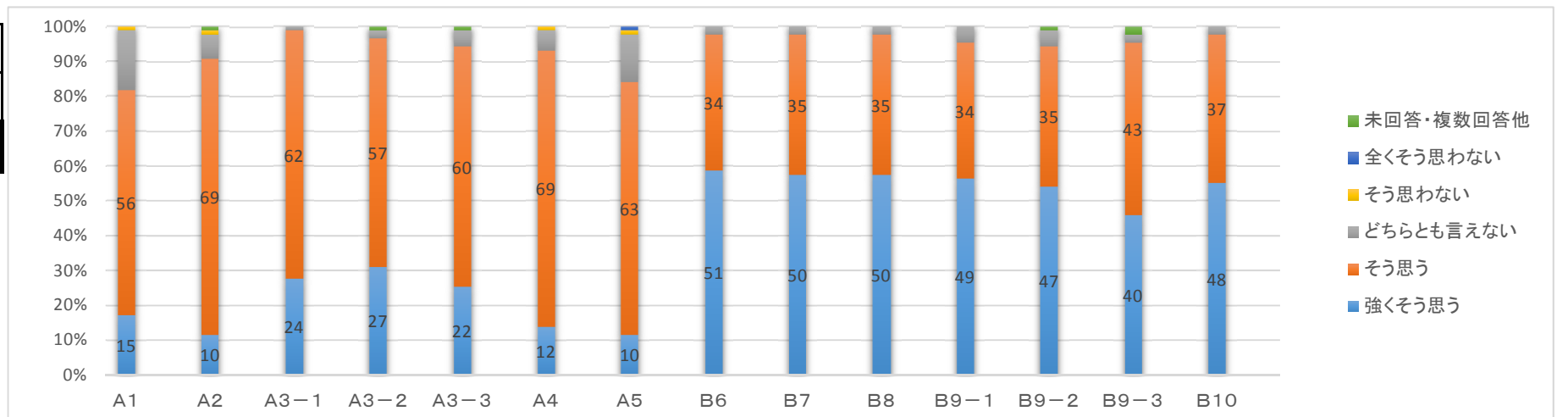
教員コメント

赤十字安全法の講習が、良く皆様に伝わったことを嬉しく思います。受講証のラミネートについては今後、検討してまいります。

		強く思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	未回答・複数回答他	計	※
A1	看護研究演習に興味・関心がもてましたか。	15	56	15	1	0	0	87	4.0
A2	看護研究演習の学習目標(看護研究のプロセスを体験し、研究計画書を作成できる能力を習得する)は達成できましたか。	10	69	6	1	0	1	87	4.0
A3-1	看護研究演習に対して意欲的に取り組みましたか。 →研究計画作成(文献検討)	24	62	1	0	0	0	87	4.3
A3-2	看護研究演習に対して意欲的に取り組みましたか。 →抄録	27	57	2	0	0	1	87	4.2
A3-3	看護研究演習に対して意欲的に取り組みましたか。 →口頭発表	22	60	4	0	0	1	87	4.2
A4	看護において看護研究の意味や必要性について実感できましたか。	12	69	5	1	0	0	87	4.1
A5	看護研究演習の課題(発表形態や提出物)は適切だと思いますか。	10	63	12	1	1	0	87	3.9
B6	担当教員から看護研究演習の学習目標(看護研究のプロセスを体験し、研究計画書を作成できる能力を習得する)を達成できるような適切な助言・指導が得られましたか。	51	34	2	0	0	0	87	4.6
B7	担当教員の学習目標・課題を達成するための教育計画の指導は適切でしたか。	50	35	2	0	0	0	87	4.6
B8	看護研究演習の過程で担当教員による指導・助言は適切でしたか。	50	35	2	0	0	0	87	4.6
B9-1	担当教員の看護研究演習の課題(研究計画書、抄録、口頭発表)への指導は適切でしたか。 →研究計画書	49	34	4	0	0	0	87	4.5
B9-2	担当教員の看護研究演習の課題(研究計画書、抄録、口頭発表)への指導は適切でしたか。 →抄録	47	35	4	0	0	1	87	4.4
B9-3	担当教員の看護研究演習の課題(研究計画書、抄録、口頭発表)への指導は適切でしたか。 →口頭発表	40	43	2	0	0	2	87	4.3
B10	担当教員は看護研究演習がスムーズにいくように配慮してくれましたか。	48	37	2	0	0	0	87	4.5

【※ (強く思う)の項目を5とした五段階評価の平均値】

履修者	95
回答者	87
回答率	91.6%



教員コメント

多くの学生が、看護研究計画書の作成および計画発表までのプロセスにおいて、担当教員から適切な助言・指導を受けることができたと評価していた。今後は、より多くの学生が看護研究に興味関心を持って取り組むことのできる支援し、計画作成までの課題(発表形式や抄録)内容について検討していきたい。